

港区地域こぞって子育て懇談会

子育てをささえる地域創りとは… **芝浦港南地区編**

みんなで聞こう・いっしょに話そう



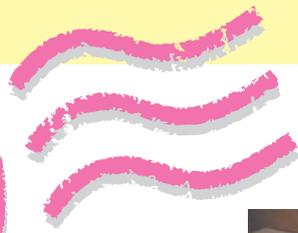
昨年、芝と高輪地区で開催。
今年、急激に子育て人口が増えているベイエリアで開催。
子連れで行けるお店や居場所、子育てにやさしい街、至急、求めています!!

2007年度 報告書



港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部附属研究所





会場内のおひさまコーナー

ピリリと引き締まった空気な中、入念なリハーサルからスタートした当日。期待と不安を胸に、懇談会が始まりました。

“即席Wa Wa Wa劇団”!?!による寸劇で幕開けです。スタッフが名俳優に変身しての大熱演に、会場が多いに和みます。第2部は“私たちの提案”とディスカッション。小グループに分かれた参加者の方々から、提案に対するたくさんのご意見をいただきました。

スタッフと参加者が“繋がった”時間でした。



受付準備中



がんばりまーす



最終確認中



最終打ち合わせ中



リハーサル



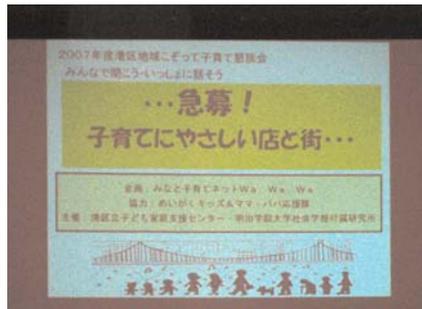
リハーサル



寸劇チーム



受付開始



いよいよ本番!



開会ごあいさつ





「子育て中でも自分の時間が欲しい!」



子育てで困っている「あんなことこんなこと」



3つの提案プレゼンテーション

手話通訳あります



アイスブレイク

ラウンドミーティング



お子さまコーナー





会場の壁面資料

港区
地域こぞって
子育て懇談会

掲示隊長：宇山

掲示物作業の日には、メンバーや応援隊が毎回5人以上集まってきて、どうしようこうしよう言いながら、楽しく作業ができました。

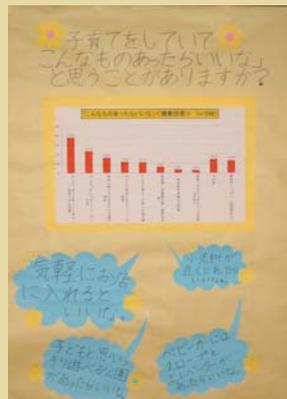
色・もの・形・言葉など、決まってしまうと多くの作業もみんなの協力であつという間に進み、人がいるってすごいなーと感心しました。

当日は「貼る・貼る・貼る」とにかく明るく・楽しく・アットホーム？に仕上げました。やはりちょっとしたアイデアや、センスが光るところを、皆さんのおかげで形になりました。

掲示隊長 宇山真紀子



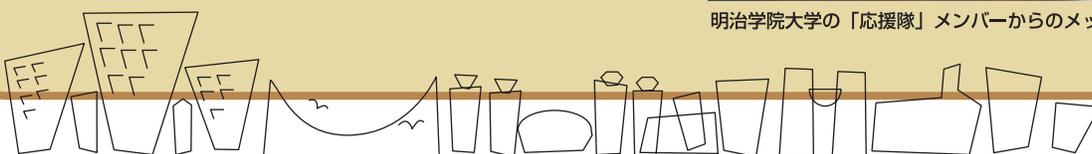
みんなでかわいく色ぬりました



吹きだしの意見を選ぶのも難しかった



明治学院大学の「応援隊」メンバーからのメッセージ





困りごと寸劇

港区
地域こぞって
子育て懇談会

寸劇隊長：伊佐見



アンケート結果と分析からリストアップして、子育て中のママの生の声をわかりやすく伝えたいと思い、寸劇で表現することにしました。

セリフは絞って長すぎないように、棒立ちではなくて動きをいれてみよう。
学生、ママたちに役を割り当て、演じてもらいます。みんな揃っての練習は当日までなし。



2回の読み合わせで本番です。どうなることやら、ドキドキ。本番はアドリブも入り、みんな生き生きと舞台上に立ちました。
寸劇の表現にはまりました。
寸劇隊長 伊佐見節子



●寸劇 セリフ

モモコ（廣田）私、モモコ。主婦26歳。子どもは2人。タカヤ2歳、カズヤ6ヶ月。私の毎日、育児、掃除、洗濯、料理…。あつという間に過ぎていくわ。クタクタ。。子どもたちはかわいい。でも、「自分の時間が欲しい！」って思うの。

子ども、モモコの周りで邪魔をするように騒ぐ。
子ども（山田）「なにしてるの〜」「おしっこ！」「ねえーねえー！」
モモコ（廣田）あなたも「自分の時間が欲しい」って思うことあるの？===フロアに投げかける===（フロア）（ある〜、ある〜！）フロアから答える

モモコ（廣田）それ聞いてほとしたわ。母親なのに自分の時間が欲しいって思うのがいけない気がして…。母親だって自分の時間もっていいのよね。イライラした母親より自分の時間が持てた笑顔の母親の方がいいわよね。
あつ、田中さん髪切ったのね。その髪型素敵よ。

B夫婦が通りがかる
妻（伊藤）子どもを主人に見てもらって、昨日美容院に行ったの。なかなか行けなくて、数ヶ月も伸び放題だったから、憂鬱だったけど、やっと行けてスッキリ。あー、とつてもリフレッシュできたわ。自分の時間が持てたって感じ。
夫（二又川）妻が美容院へ行く間、子どもを見たけど、いやあ、大変だったよ。これを妻が毎日しているってわかった。家において楽しているなんて思ったら、とんでもないよ。感謝しなくちゃなあ。
妻（伊藤）自分の時間って、本を読む時間、趣味に使える時間、ひとりホッとできる時間のこと。少しの時間でいいから欲しいわね。
モモコ（廣田）母親のリフレッシュは必要よね。

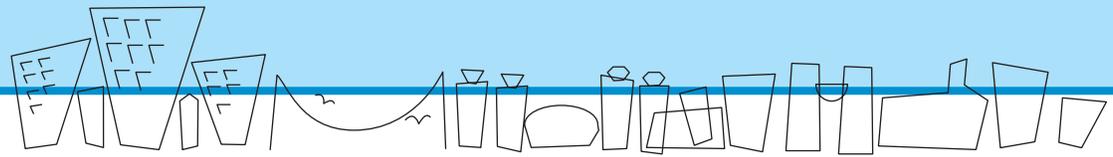
4人一緒に登場、会話形式。1人が話しをしているとき、他のメンバーはうなづく
主婦1（小西）私が困ったこと、仕事をしたいけど、子どもを預ける場所がないこと。保育園はいっぱい。待機児童が多くて、職場復帰はできないわ。
主婦2（白鳥）私の具合が悪いときに、困ったわ。子どもがいたら休めないじゃない。親は近くにいないし…でも、結局、親に見に来てもらったわ。こんなとき自宅近くでちょっと預かってくれるところがあったらと思う。
主婦3（村上）私は子どもが病気のとき困ったわ。仕事上休めないときがあるから、病気の時は保育園で預かってもらえないこと。病児保育があると助かるわ。
主婦4（渡辺）小児科や耳鼻科など自宅の近くに欲しいわ。救急でみってくれる病院が近くにあって安心だわ。

子ども登場
子ども（山田）「ねえねえ、今日幼稚園でね〜…」（と話しかける）
母親（西内）あ、ほんと、わかったわかった。あ〜こんな時間。（と流して）早く支度しなさい（少し反省して…）仕事をしていると限られた時間のなかで、どうしても親の都合を優先してしまってストレスを感じるようになったの。

主婦1、2登場
主婦1（大西）子どもと気軽に行けるレストランや親子で楽しめる場所があったらうれしいわ。いつも、児童館でおにぎり…
主婦2（逢見）そうよね〜。たまにはパスタも食べたいわよね〜

一家登場
（乳児）「泣き声フンギャー、フンギャー」
夫（浅野）おい、明日早いんだよ〜。いい加減寝かせてくれよ。
妻（金地）夜泣きがとまらないのよ。ミルクも飲まないし、ちつとも寝てくれない。私が眠たいよーだれか少しでもいいから寝かせて〜

主婦1登場
主婦1（宇山）子どもと2人で過ごす時間が長いけど、オムツを替えて、おっぱいあげて、それでも泣き止まないとき、困ったわ。「なんで、泣くの？」「こんなときどうしたらいいの？」不安と緊張の中で疲れてしまうの……と倒れこむ。





Wa.Wa.Waの提案

港区
地域こそって
子育て懇談会

提案隊長：志牟田

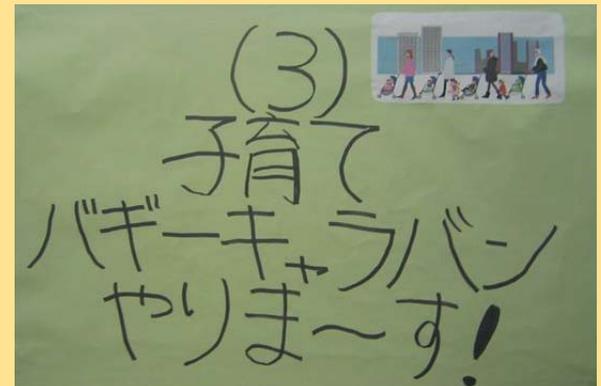
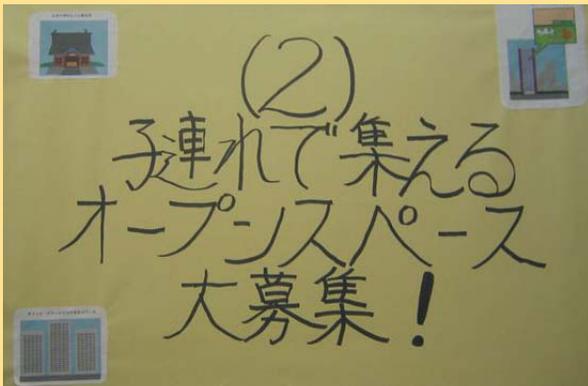
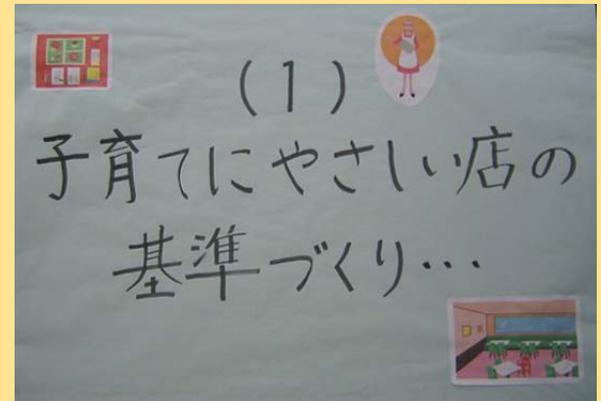
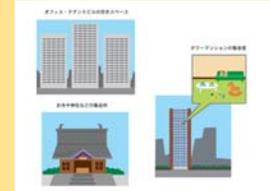
芝浦港南地区の子育て中のみなさんのリアルな要求を受けて、子育て当事者の私たちみなと子育てネットWa.Wa.Waのメンバーで「こんなものがあたらいいな」を3つ提案しました。寸劇の後で会場のムードも和やかになっているのに～説明が始まると水を打ったような静けさ。

今時の子育て事情と子育て当事者が生きてきた時代背景や社会情勢を踏まえて、提案内容のイメージを参加者の皆様が共有できるかどうか、心配でした。提案する内容が、参加者の生まれ育った環境、世代間の価値観、立場の違いを越えて、子育てを地域のみなさんで支えていくための手立てを考えるきっかけになれば懇談会は大成功！

提案隊長 志牟田美佐子



ニュースキャスター気分で発表です



みんなそろって

港区
地域こぞって
子育て懇談会



パパも参加したよ



こんな意見ができました



明治学院大学社会学部付属研究所遠藤所長



懇談会用のあめ、配ってマース



真剣に最終チェック



寸劇チーム 舞台ウラにて



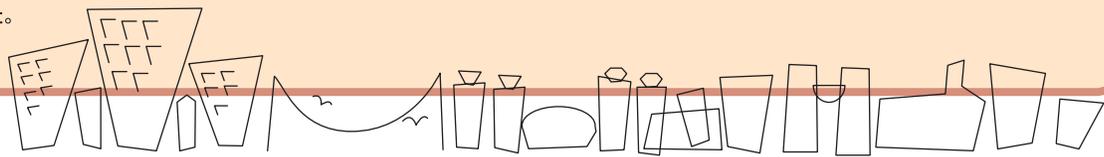
ラウンドミーティングにスタッフも参加



ラウンドミーティング



懇談会、無事終わりました。



主催：港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部附属研究所
企画：みなと子育てネットWa. Wa. Wa 協力：めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊

港区地域こぞって子育て懇談会

芝浦港南地区編

1月26日（土）午後1時～3時30分 リーブラ（港区立男女平等参画センター）5階ホールにて

みんなで聞こう・いっしょに話そう～急募！子育てにやさしい店と街～

◆◆◆◆◆ 内容 ◆◆◆◆◆

総合司会：みなと子育てネットWa.Wa.Waこぞってプロジェクト宮川純子

開会あいさつ 港区立子ども家庭支援センター所長 川上真二

第1部

『アンケート調査の報告～ベイエリアのママ・パパたちに聞きました！～』

『子育てにやさしい店と街へ！！ ～私たちの3つの提案～』

調査報告と提案発表：みなと子育てネットWa.Wa.Waこぞってプロジェクト志牟田美佐子

寸劇：同プロジェクト小西智美・金地晃・中鉢康子・大西麻子・伊藤静華ほか、
めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊

第2部

『聞かせてほしい、みんなの意見』

アイスブレイク：みなと子育てネットWa.Wa.Waこぞってプロジェクト川森玲子

3つの提案ごとに、グループに分かれてラウンドミーティング

ファシリテーター：みなと子育てネットWa.Wa.Wa

こぞってプロジェクト石橋千恵子・志牟田美佐子・廣田千秋・宇山真紀子ほか

『ラウンドミーティングのまとめ』

まとめの進行：みなと子育てネットWa.Wa.Waこぞってプロジェクト伊佐見節子

閉会あいさつ 明治学院大学社会学部附属研究所所長 遠藤興一

2007年度 港区地域こぞって子育て懇談会 目次

港区立子ども家庭支援センター&明治学院大学社会学部附属研究所所長よりごあいさつ	3
〈1〉 明治学院大学社会学部附属研究所の『港区地域こぞって子育て懇談会』までの経緯	
2000年～2006年度	4
今年度開催までの経緯	10
〈2〉 芝浦港南地区「子育てアンケート」調査の結果	
1.調査の概要	12
調査票	13
2.調査結果の概要	
育児中の困りごとについて、困り事の内容	14
解決方法、「こんなものあったらいいな」と思うもの	15
子育て応援シールについて、自由記述	16
参考資料 港区の統計	18
〈3〉 アンケート調査結果を受けて	
みなと子育てネットWa.Wa.Waから3つの提案	20
〈4〉 懇談会	
アイスブレイク	24
懇談会の進め方	25
グループディスカッション内容と発表	
『1. 子育てにやさしい店の基準づくり』	26
『2. 子連れで集えるオープンスペース大募集』	28
『3. 子育てバギーキャラバンやりま～す』	30
懇談会のしめくりに	32
〈5〉 来年度の懇談会に向けて	34
〈6〉 どんな人たちが参加してくれたのかしら？	36
〈7〉 活動紹介	
みなと子育てネットWa.Wa.Wa	38
子育てグループ紹介	39
〈8〉 スタッフの感想	42
〈9〉 めいがかくキッズ&ママ・パパ応援隊（活動紹介とメンバーからの提案）	46
所感	48

港区立子ども家庭支援センター

所長 川上 真二

みなさん、こんにちは。本日は、多数のみなさんにお集まりいただき、ありがとうございます。
『港区地域こぞって子育て懇談会』は、2004（平成16）年から開催し、今年で4年目です。4年というと「ちょっと前」という感じですが、港区におけるこの4年間には、急激な変化がありました。その変化のひとつは、人口が増えているということです。特に芝浦港南地区は、港区の中でも人口増加が顕著で、なかでも子育て中の方、子どもたちが増えていることが特徴です。

人口が増えている理由のひとつは、大規模マンション等に転入してきた世帯が多いことです。ということは、地縁のない所に転入ってきて、地域でのつながりが作りにくい中で、子育てをする方が多いということが言えると思います。

今年の『港区地域こぞって子育て懇談会』を、芝浦、港南、台場を対象とした地域で開催したのは、このような背景があるからです。この地域で、子育て中のみなさんと子育て中のみなさんを取り巻く地域のみなさんが、気持ちをひとつにして、「子育てするなら、こんな地域がいい」というアイデアを出し合い、具体化できたとき、それは港区全域で通用するようなモデルケースになるのではないかと思ったからです。

この懇談会は、昨年に引き続き明治学院大学社会学部付属研究所と共催しましたが、実は企画、運営、準備のすべてにわたって、港区内の子育てグループのネットワーク「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」のみなさんに自主的に活動していただきました。「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」のみなさんが地域への熱い想いをもって、企画会議に参加し、さまざまな準備をし、今日の懇談会を迎えました。

今日はその熱い想いが『片想い』ではなく、地域のみなさん、企業のみなさん、商店会のみなさんと『両想い』になるような懇談会にしたいと思います。ぜひ、よろしくをお願いします。

明治学院大学社会学部付属研究所

所長 遠藤 興一

私は、今回の『港区地域こぞって子育て懇談会』では、「子育てにやさしい店の基準づくり」のグループに参加しました。グループの中で、多摩地区のお店の例が出ました。レストランで、フロアのまん中に子どもが遊べるスペースを作り、その周りにテーブルなどレストランの設備があり、子どもはまん中で遊び、周りにお母さんやお父さんや友だちがいて時間をすごせるという店です。が、多摩ニュータウンでやったからつぶれた。あたりまえと言えば、そうなのですが、あの地域は、高齢化しています。港区のこの地域に、この店をもってきたらどうか、つぶれないだろうと思います。ニーズのあるお客さんがいるところにレストランを作れば、「うちも～うちも～」となり、安心して目配りができるレストランは繁盛するはずですよ。

福祉という仕事や、地域で子育てをすることは、ニーズがあり、資源があり、それを「つなぐ」という努力を、誰がやるのかです。ひとつは、行政ですが、もうひとつは、ここにいる地域住民の知恵です。むずかしい専門知識があるところもありますが、最初はいらない。生活の実感から、子どもの目線の届くところにおいて、安心して私たちの時間が確保できる場所があれば、十分に成り立ちます。その意味で、福祉や子育ては、制度もできています。参加したラウンドミーティングでは、今般の制度はいろいろ大変という話が出ました。小泉内閣から制度が変わり、大きな状況の変化はある。だが、地域までおりてきた問題は、そのことによって、根底から脅かされないのか、脅かされるのか。今やれる一歩からやっていると、だんだん二歩、三歩ができていくはずですよ。子育て支援のグループや、その運動や組織化は全国規模で広がっています。この地域だけの悩み、ここだけの問題ではないということに自信にして、これからも展開していくことが、とても大事だと思います。

コミュニティでは、そういう意味で、今日の『港区地域こぞって子育て懇談会』での話し合いがとても大切だということが、参加してよくわかりました。

…明治学院大学社会学部附属研究所… 2007年度港区地域こぞって子育て懇談会 までの経緯

●明治学院大学社会学部附属研究所の特徴：

当所は、本学社会学部の研究の砦であると同時に、地域に開かれた相談機関としての機能を持ち、福祉相談活動（個人やセルフヘルプグループ、施設・NPO）や講座・研修活動（市民や社会福祉実践家向け）に取り組む研究所です。

●2000年度～2004年度の活動：

2000年度より、地域の福祉課題解決のための土壌づくりをめざし、市民自らによるボランティアな活動を推進する目的で、市民講座を開催しています。

後のページに掲載したとおり、これまでにいくつかの市民講座を企画しながら、港区にはいったいどんなボランティアな活動があるのか、どんな魅力的な活動があるのかを手探りで探し、さまざまな活動をしている方々と出会ってきました。

●2005年度～2006年度の活動＜その1＞：

この間に、港区内の子育て・子育て環境がもっとよくなるよう取り組みたいという活動者との出会いもあり、子育て相互支援活動に着目して、特に子育て中の当事者による活動グループの方たちとつながりをもとうと努力しました。

2005年度、それまでに出会えた皆さんと「都心で子育てまっ最中！ママ・パパからの発信～子育てをささえる地域創りとは～」という市民講座をいっしょに企画しました(2006年3月)。

●2005年度～2006年度の活動＜その2＞：

上記講座をとおして、子育てをささえる地域創りを模索する上での課題がみえてきました。さまざまな子育てグループとの出会いから、子育て相互支援活動グループの課題や要望も伝わってきました。

●2005年度～2006年度の活動<その3>：

2006年度にはいり港区立子ども家庭支援センターより、「港区地域こぞって子育て懇談会」企画協働という提案が舞い込みました。子育てグループネットワークの活動者たちと共に取り組めるならば、子育て当事者ならではの想いやニーズを盛りこんだ企画を立てられるかもしれない。そんなもくろみをもちました。限られた時間でしたが、元気に手を挙げてくれた活動者たちと、互いに学びあいの場をもちながら、企画に臨みました。（2006年度港区地域こぞって子育て懇談会「みんなで聞こう・いっしょに話そう～子育てをささえる地域創りとは～」2007年1月13日高輪地区・1月27日芝地区にて開催）

●2006年度～2007年度の活動：

港区内のいくつかの子育てグループ活動者たちは、グループ間をつなげていくネットワークをつくろうと動きだし、2006年度港区地域こぞって子育て懇談会において、「みなと子育てネットWa. Wa. Wa」の設立を表明しました。

2007年度に入り、「子育てグループをつなぎながら、必要な親子に情報を届けたり、子育て環境向上のためのイベントやアクションをしよう～」という目標のもと、活動を開始しました。当所も、みなと子育てネットWa. Wa. Waの活動の応援に重点をおきました。

●2007年度の活動：

2007年度みなと子育てネットWa. Wa. Waより、自分たちが掲げた活動目標達成のために、港区地域こぞって子育て懇談会の企画に主体的に関わりたいとの申し出がありました。みなと子育てネットWa. Wa. Waが立ち上げた、「地域こぞって子育て懇談会プロジェクト」メンバーと、当所スタッフと、当所が募集した学生ボランティア「第3期めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」メンバーと共に、2007年度港区地域こぞって子育て懇談会の企画立案に挑みました。

子育てをささえる地域創り

さまざまな社会状況の中、たやすくないことがたくさんあります。でも、私たちの未来である「子どもたち」＝小さな「市民」を育てるしごと、その環境を創造するしごとに、微力ながら私たちもひきつづき携わっていきたいと考えます。皆さま今後共よろしく願いたします。

明治学院大学社会学部付属研究所

明治学院大学社会学部附属研究所 **これまでの地域・コミュニティ創り活動**

◆2002年度 「都市型ボランティア活動とは？～企業の社会貢献と市民参加～」開催 (基調講演とパネルディスカッション)

都市ならではの課題：単身世帯の増加、高齢化そして孤立化…。それに対し、地縁・血縁型の長期定住者、新たな出会いのなかで活動する住民、昼間の人口割合が高いという特徴ならではの在勤・在学者の存在、NPO型活動の占める割合の高さ、コミュニティビジネスの参加など、多様な人々の取り組みが展開され、その多様さこそ都市におけるボランタリーな活動の特徴である。課題として、ネットワークを創ること、顔の見える関係を創ることが重要。そのための中間支援組織の役割はどうあったらよいか？との課題も示された。そして、NPOと企業・行政との協働はどうしたらよいか、そもそもボランティア活動の本質とは何か？との論点も出た。

○基調講演「都市型ボランティア活動とは？～企業の社会貢献と市民参加～」

講師：山崎美貴子（明治学院大学教授／東京ボランティア・市民活動センター所長）

○パネルディスカッション

パネリスト：

日塔憲夫（松下電器産業株式会社コーポレートコミュニケーション本部社会文化グループ）

林川玲子（ビバ日本語教室）

柳川素美代（特定非営利活動法人生活福祉ネットワーク）

コーディネーター：山崎美貴子



◆2003年度 都市型ボランティア活動に関する研究会・研究会企画による「都市型ボランティア活動フォーラム～実践報告と今後のゆくえ～」開催

○プレゼンテーション

特定非営利活動法人アンテナフランス

中津川昌弘

特定非営利活動法人生活福祉ネットワーク

柳川素美代

ビバ日本語教室

林川玲子

NPO/NGO環境団体エコスクラブ山村徳護

港区民生・児童委員協議会三田地区会長

古橋義弘

港区赤十字奉仕団

岩間貞子

○フォーラムのまとめ

講師：山崎美貴子（明治学院大学名誉教授／神奈川県立保健福祉大学教授／東京ボランティア・市民活動センター所長）

昨年度の参加者から希望が寄せられ、都市ならではのボランティア活動について討議しようという研究会をもった。研究会では、都市に暮らす生活者たちの諸課題解決に取り組む活動者メンバーの実践を振り返りながら、実践の中から都市型ボランティア活動の本質に迫ろうとした。そこでは、都市における数々のコミュニティの課題が語られた。ボランティア活動は都市におけるコミュニティ復活の手段では？という意見もあった。これらの討議のまとめの意味で、公開型フォーラムを行い、討議で出された以下の活動上の課題について、グループディスカッションを行った。＜以下、テーマ＞

- 1 自律した活動者となるために、活動の育ちを応援する基盤や仕組みづくり
- 2 行政・企業・NPO・ボランティアなどのネットワークをどう発展させるか？
- 3 地域住民のネットワークをどう創るか？ボランタリーな活動へどう巻き込むか？

◆2004年度「都市型ボランティア活動大特集！～リンクしよう！明学&港区のNPO～」開催
(ミニ講義とリレーNPO活動紹介)

2003年度研究会のNPOメンバーから「ボランティアをもっと募集したい、地域の人をもっと巻き込みたい」との声が多数あった。そこで、地域の皆さんと本学学生を対象に、港区内のNPOの『ボランティア活動プログラム』を紹介しよう～という企画を開催した。多様な10のNPOが参加した。

○NPOとの準備講座

「効果的なボランティア募集とは？ーボランティアマネジメント入門ー」
講師：妻鹿 ふみ子（吉備国際大学助教授）

○ミニ講義

「NPOでボランティア活動をするということ」
講師：小原 宗一（日本ボランティアコーディネーター協会運営委員長/本学卒業生）

○リレー活動紹介 参加NPO

人工呼吸器をつけた子の親の会東京支部 みなと工房
特定非営利活動法人エコスクラブ

NPO視覚障害者支援ネットワーク Strawberry Field ストロベリーフィールド 連合東京ボランティアサポートチーム
特定非営利活動法人生活福祉ネットワーク 特定非営利活動法人日本アロマテラピー活動サポートセンター
クリエイティブ・アート実行委員会 認定特定非営利活動法人JHP・学校をつくる会
特定非営利活動法人日本ゆび編み協会

●2004年度 クリエイティブ・アート実行委員会（港区南青山）共催
「新しい出会いがコミュニティを創る」開催（基調講演とパネルディスカッション）

○基調講演

「都市コミュニティの魅力とネットワークの力
ー新しい文化はどこで生まれるのかー」
講師：野沢 慎司（本学社会学部教授）

○パネルディスカッション

「港区の今、そしてこれから…
都市コミュニティの魅力と課題」
パネリスト：クリエイティブ・アート実行委員会 伊地知裕子
浄土宗魚藍寺住職 山田 智之
みなとNPOネットワーク 洪川 典昭
絵本の読み聞かせ「きしゃポッポ」 伊佐見節子

NPO紹介企画で出会ったクリエイティブ・アート実行委員会は、都市型ボランティア活動に関わる研究会でくりかえし討議された、「人々のつながりやコミュニティ」とアートをテーマにしている。港区という町の歴史を大事にしながら、新しいつながり創りをするNPOとの出会いから、都市に暮らす私たちは、人々のつながりやコミュニティをどう捉え、何を求めるのかーを投げかけられ、協働による発信を実現した。

2002-2004年度の間模索しながら活動してきました。2005年度以降のミッションとして、“都市型ボランティア活動”とは、都市におけるさまざまなボランタリーな活動（個人や任意のグループによるボランティア活動も、NPOによる市民主体の諸事業も）と捉え、それらがより活発になるよう、活動者と連携・協働し、共に発信し、ネットワークを創っていきたいーと考えました。そのネットワークのもと、出会いや学びの場創りに取り組み、私たちがまた、地域の一資源としてコミュニティ創り・地域創りに参画したいーと考えます。

◆2005年度「コミュニティ創りを担うNPO

～地域に暮らすさまざまな人々とNPOとの出会いをめざして～」開催

(ミニ講演とリレーNPO活動紹介)

○NPOとの準備講座

「NPOを知らない層へ向けたプレゼンテーション」

講師：青木 将幸（青木将幸ファシリテーター事務所代表）

○ミニ講演「地域住民とNPOが創る新しいコミュニティ

～町会・PTA・民生委員の活動経験より～」

講師：古橋義弘（港区民生・児童委員協議会三田地区会長）

○リレー活動紹介 参加NPO

特定非営利活動法人テクノシップ みなと21：女の議会

特定非営利活動法人日本アロマテラピー活動サポートセンター

クリエイティブ・アート実行委員会

認定特定非営利活動法人JHP・学校をつくる会

特定非営利活動法人日本ケナフ開発機構

特定非営利活動法人生活福祉ネットワーク 特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス

2004年度のNPO紹介企画の参加NPOより、「大学・NPO・地域」を結ぶ本企画を継続して行ってほしいという要望をもらった。それならば、新しい出会いを求めてコミュニティ創りに取り組む、取り組もうとしているNPOに、地域の皆さんや学生たちにPRしてもらおうと集まってもらった。参加NPOから、地元で活躍する方のお話を聞きたいという要望が寄せられ、町会・民生委員を担う方にNPOへの期待をお話いただいた。

◆2005年度「都心で子育てまっ最中！ママ・パパからの発信

～子育てをささえる地域創りとは～」開催（ラウンドミーティング）

当所とすでにつながりのあったママたちと、「子育て当事者の立場から地域に向かって発信しよう！」という講座の主旨や方向性を打ち出した。地域の他のグループともつながりたい、との想いが共通していることもわかり、講座をきっかけに子育て中の人たちが取り組むグループとの出会いを求めた。

○港区内の子育てグループ活動紹介（9グループが参加）

○近隣品川の子育て相互支援活動に学ぶため、「ふれあいの家ーおばちゃんち」の幾島事務局長による活動紹介

○都心での子育てを取り巻く現状やニーズを当事者の声として発信

*本企画は、学生ボランティア「めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」も交流しながら運営を支えた。

本講座は、都心の中での孤立しない子育て、それをささえる地域創りについて、当事者も支援者も地域の人々も一緒に考える、その第一歩の発信でした。講座を機に子育てグループのネットワークも築かれました。でも、講座には、パパをはじめ男性の参加が少なく、地域社会全体で子育てについて考えることのむずかしさ、課題も感じさせられました。

子育て相互支援活動の担い手たちは、グループ同士のつながりから、情報を共有し、交流も・・・そして、

2006年度港区地域こぞって子育て懇談会企画の担い手へ

2006年度港区地域こぞって子育て懇談会開催

みんなで聞こう・いっしょに話そう

～子育てをささえる地域創りとは～

当日の内容

- 子どもたちと遊ぼうタイム～♪
- 港区内の子育てグループ活動紹介
- 子育てをささえる地域創りのためのラウンドミーティング



参加者の皆さんとのラウンドミーティングで、子育てをささえる地域創りのための「地訓」を皆で話し合い、考えました。

*昔はどの家にもあった「家訓」ですが、地域の中で子どもたちを育てるために、親として大人として、こうあるべき&こうありたいね、という想いを「地訓」として、まとめました。

2006年度地域こぞって子育て懇談会 『地訓』

高輪地区10か条

- ・まずは一步をふみだそう！！
- ・声かけでまわりに友達を。はじめの一步
- ・顔をあげて笑顔であいさつ
～チョコッと外に出てみませんか？～
- ・おせっかいでもいいから一声かけよう、
何度でも（めげないで）
- ・どの子も我が子と思って（あいさつ、叱る）。
どんどん出よう。
- ・子どもを中心に「わ・わ・わ・わ」
- ・自ら積極的に関わりあっていこう！
- ・家族みんなでイベントを！
- ・地域の行事って実はコミュニケーション
の場なんだよね～
- ・「我が家は地域子育て隊」シールを提案！

芝地区11か条

- ・あいさつ 一番のまちっ
- ・「あ」かるく「い」つも
「さ」わやかに「つ」きあおう
- ・まずはあいさつ 気楽に話そう、誰とでも。
- ・えがおであいさつを交わそう！子どもをま
ん中にあつまるまちづくり
- ・あいさつからつながろう
- ・笑顔 あいさつ 見守る 地縁 つながる場
- ・みんなで子育て身近なかかわりからはじめよう
- ・サラリーマンの街じゃない！親子が楽しめる街
に変えよう！
- ・子育ては誰でもまきこみ迷惑かけちゃえっ！
- ・バリアフリー 街も心もフレンドリー
- ・「アイラブ♡」でつながろう

2007年度港区地域こぞって子育て懇談会

みんなで聞こう・いっしょに話そう

～急募！子育てにやさしい店と街～

2007年度「港区地域こぞって子育て懇談会」

企画・開催 報告書完成 までの経緯

みなと子育てネットWa.Wa.Waは2007年度「港区地域こぞって子育て懇談会プロジェクト」を立ち上げました。子育てグループのネットワークに呼びかけメンバーを募りました。

明治学院大学社会学部附属研究所スタッフと学生ボランティア“めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊”もメンバーに加わり、第1回企画会議が2007年5月16日に始まりました。

定例の企画会議、臨時会議や調査を経て、2008年1月26日に懇談会を開催することができました。その後も17回の企画会議をもって報告書が完成いたしました。

また、明治学院大学社会学部附属研究所主催「子育て支援活動メンバーのための活動スキルアップ講座2007年」にも参加し、自分たちのスキルアップをはかりました。

	日 程	内 容
第 1 回	5月16日	プロジェクト立ち上げ、スタート ・2007年度「港区地域こぞって子育て懇談会」について（説明） ・企画のすすめ方について（意見交換など）
第 2 回	6月20日	・2007年度「港区地域こぞって子育て懇談会」について（説明、意見交換）
第 3 回	7月18日	・当日までのスケジュール、役割分担、方向性など（意見交換）
第 4 回	8月8日	・アンケート調査について（内容、方法、回収について等）
第 5 回	9月19日	・アンケート調査について（内容、方法）
調査票配布	9月26日	・調査対象保育園等・幼稚園への調査票配布作業
現地調査	10月9.10.12日	・3児童館等にて調査実施
第 6 回	10月17日	・予算、仕様書について ・アンケート調査について（回収状況、集計・分析、役割と作業分担等） ・当日の内容について
第 7 回	11月14日	・アンケート調査集計結果について ・広報 ・寸劇
第 8 回	11月21日	・当日の流れと内容 ・アンケート調査分析について ・役割分担とチーム隊長決定 ・広報、キャッチコピーなど
第 9 回	12月19日	・「3つの提案」について決定 ・当日配布物について
第 10 回	1月15日	・会場の下見 ・当日資料作成
第 11 回	1月16日	・当日の段取り ・渉外活動進捗、その他の報告 ・グループディスカッションの進め方（23日臨時会議に持ち越し）
第 12 回	1月23日	・グループディスカッションの進め方 ・掲示物作成
第 13 回	1月25日	・前日打ち合わせ ・荷物搬入
第 14 回	1月26日	・懇談会当日 ・寸劇読み合わせ（リハーサル）
第 15 回	2月20日	・懇談会反省
第 16 回	3月14日	・報告書最終打合せ
第 17 回	3月19日	・報告書校正

※その他に、アンケート集計・分析作業、渉外、掲示作成、寸劇等の作業がありました。

開催までの経緯（今年度）

子育て支援活動メンバーのための活動スキルアップ講座 2007

●主催/明治学院大学社会学部附属研究所
港区地域こぞって子育て懇談会の企画立案
過程に並行して行われた

第1回
9月21日

先例から学ぶ 子育てネットワークの展開

スピーカー
松田 妙子氏
特定非営利活動法人 せたがや子育てネット

第2回
10月31日

NPOによる 子育て応援プログラムを知ろう

スピーカー
クリエイティブ・アート実行委員会
特定非営利活動法人 男女平等参画推進みなと
きてきて先生プロジェクト
特定非営利活動法人 テクノシッブ

第3回
11月16日

活動資金や協賛の獲得方法

スピーカー
長谷川 美知子氏
品川子育てメッセ実行委員
幾島 博子氏
特定非営利活動法人 ふれあいの家-おばちゃんち

第4回
11月30日

意見が出しやすくなる ミーティングの工夫

ファシリテーター
青木 将幸氏
青木将幸ファシリテーター事務所

第5回
2月23日

子育て相互支援活動から めざす地域創り ～活動の評価をしよう～

ファシリテーター
加留部 貴行氏
特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会
九州大学特任准教授

開催までの経緯 (今年度)

芝浦港南地区「子育てアンケート」調査の結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

2008年1月に「港区地域こぞって子育て懇談会（芝浦港南地区編）」を開催するにあたり、子育て中の方々の現状や要望を把握し、懇談会で予定している提言に反映させることを目的として実施しました。

(2) 調査の対象

- ①芝浦港南地区の児童館で開催されている未就学児対象の催しに参加している保護者
- ②芝浦港南地区にある幼稚園、保育園に通園している児童の保護者

(3) 実施方法

- 対象①については、現地で調査員（みなと子育てネットWa.Wa.Waこぞってプロジェクトメンバー）による配布・回収
- 対象②については、園を通じた配布・回収

(4) 集計方法

今回の調査は、選択肢を選ぶ方式と自由記述で記入する方式の2種類で回答をお願いしました（「調査票」参照）。自由記述で記入する設問について、調査票回収後、一部の設問を除き、回答を分類し記号化（アフターコーディング）した上で統計的処理を行いました。

(5) 回収状況

対象者	配布件数	回収件数
児童館利用者等	109	109
幼稚園・保育園利用者（こども園を含む）	799	187
合計	908	296

注）「児童館利用者等」には、児童館利用者を通じて調査にご協力いただいた方も含まれています。



ベイエリアの
ママ・パパたちに
聞きました！

2. 調査結果の概要

(1) 育児中の困りごとについて

回答者のうち、「困りごとあり」と回答した割合はほぼ9割にのぼります。(図1)

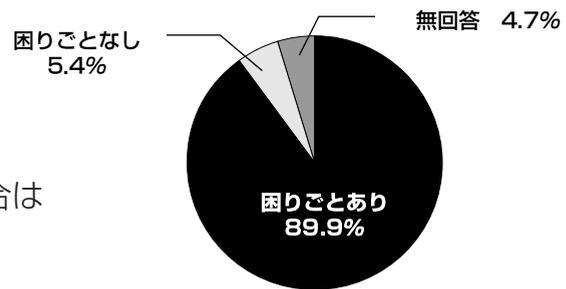
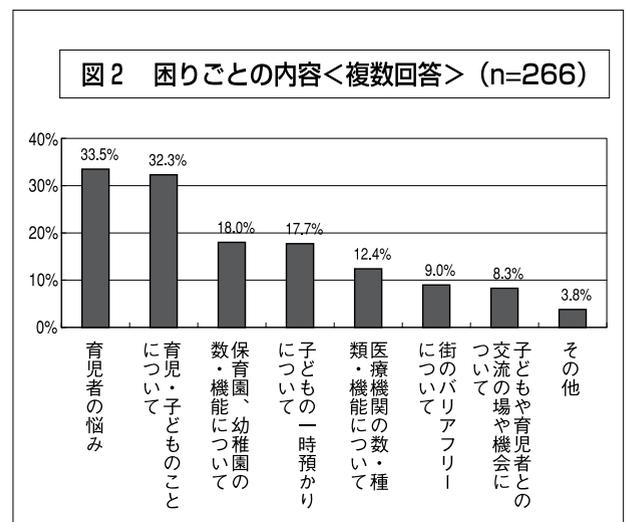


図1 困りごとの有無 (n=296)

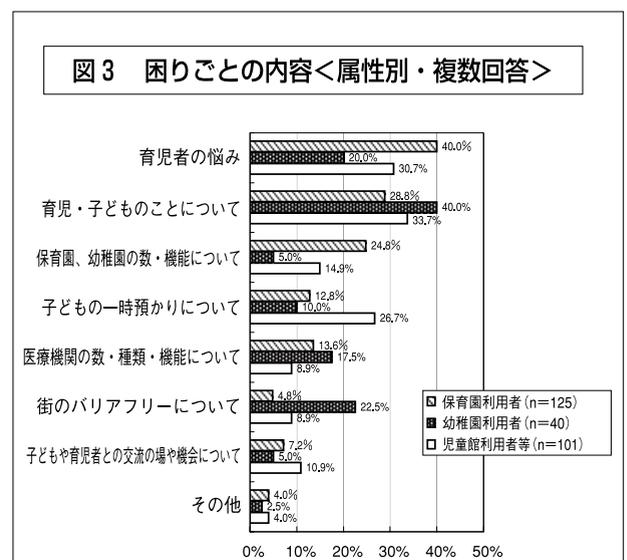
(2) 困りごとの内容

「困りごとあり」と回答した場合、内容で最も多かったのは“自分の自由になる時間がない” “仕事が忙しくていらいらしてしまう” “子どもがじっとしていないので外食にもいけない” など「育児者自身の悩み」(33.5%)でした。第2位は“子どもの食事やしつけ、夜泣きへの対応がわからない”などの「育児・子どものことについて」(32.3%)、第3位は“保育園の数が少なくて入園できないため、働くことができない” “病児保育がない” “3年保育の幼稚園が少ない” など「保育園、幼稚園の数・機能について」(18.0%)の順となっています。

なお、項目の「子どもの一時預かりについて」は、保育園などでの一時保育がなかなか利用できないこと、親が遠方に住んでいるため急な病気の時に預けられる人がいないなどの意見を含み、項目の「街のバリアフリーについて」は、ハード面でのバリアフリーに対する意見とあわせ、「歩きタバコで危険な目にあった」「子連れでお店にはいったら、店員にいやな顔をされた」など、モラルや子育て世代に対する意識のバリアフリーに関することも含まれます。(図2)



なお、集計にあたって、調査回答者の属性別(『保育園利用者』、『幼稚園利用者』、『児童館利用者等』の3区分)クロス集計を行いました。『幼稚園利用者』の回答数が、他の属性の回答数と比較して少ないことに留意する必要がありますが、属性によって困りごとの内容への回答率に差がみられました。『保育園利用者』での「保育園、幼稚園の数・機能について」、「街のバリアフリーについて」、「子どもや育児者との交流の場や機会について」への回答が、他の属性と比較して多くなっています。(図3)



(3) 困りごとの解決方法

困りごとがあったときの解決方法について質問したところ、“子どもが成長するのを待つ（待った）”“友だちと気晴らしにでかけた”“子どもの食事や関わり方など自分で工夫をした”など「自分自身で解決した」が4割で最も多い回答でした。次に「家族・親族に頼った」が19.7%と続きます。一時保育の利用や専門機関への相談、児童館などの地域資源を活用しての問題解決はそれぞれ1割程度にとどまっています。

一方で、困りごとの解決方法が「ない（なかった）」との回答が4分の1ありました。

(図4)

属性別にみると、『幼稚園利用者』では「自分自身で解決した」との回答が半数以上に上りました。また、『保育園利用者』『児童館利用者等』と比較して、「家族・親族に頼った」「一時保育を利用した」への回答が少ない反面、「友人に頼った」への回答が多い傾向がみられました。『保育園利用者』では「病院・保育園などの専門機関の専門職に相談した」、『児童館利用者等』では「地域の資源を利用した」への回答が他の属性と比較して多く、回答者の属性を反映した結果となっています。(図5)

図4 困りごとの解決方法<複数回答> (n=228)

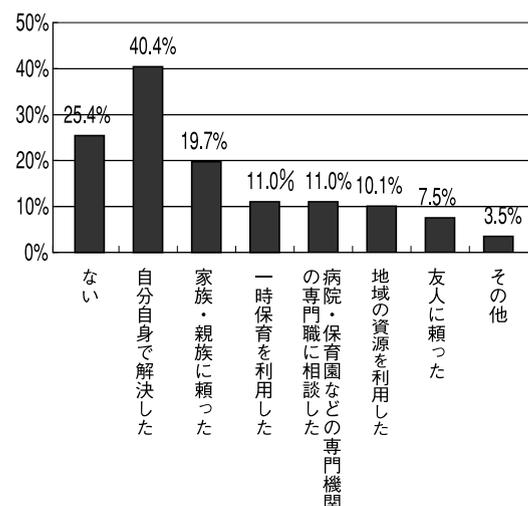
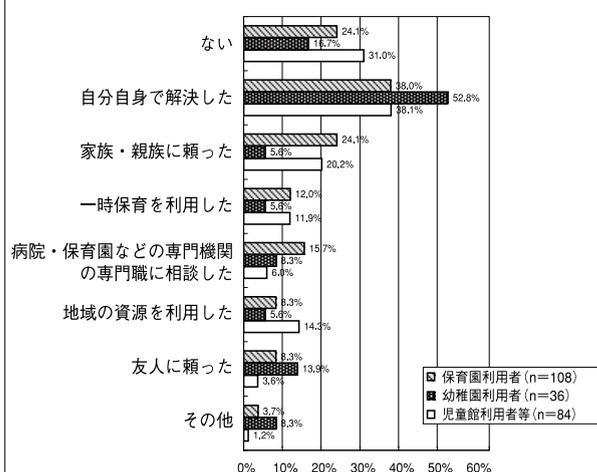


図5 困りごとの解決方法<属性別・複数回答>



(4) 子育てをされていて「こんなものあったらいいな」と思うもの

子育てをされていて「こんなものあったらいいな」と思うものがありますか？と事例をあげて質問したところ、“子どもルームがあるレストラン”“託児所付きの店舗や美容院”といった「子ども連れでもゆっくり安心して利用できる店舗」(37.8%)が特に多く、次いで“ベビーカーでも移動しやすい街”や“トイレにオムツ替えシートやベビーラックを設置してほしい”などの「子ども連れにやさしいバリアフリーの街」(23.3%)が続きます。

“交流”に着目すると、「地域で親や子が交流できる場や機会」は16.2%ですが、関係の距離感が近いといえる「家族ぐるみでできるような近所づきあい」は2.7%にとどまっています。

同年齢の子どもやその保護者、地域とのかかわりを求めながらも、プライベートを大切に
する子育て世代の特徴とも読み取れます。

項目の「その他」には、“検診、母親学級、
予防接種などの週末実施”“店舗での子連れ割引”
“子どもがかかりやすい病気に対応した医療機
関（耳鼻科等）”の回答がありました。（図6）

属性別にみると、『児童館利用者等』での「子
ども連れでもゆっくり安心して利用できる店舗」
への回答が半数近くに上っており、他の属性
での回答より多くなっています。また、『幼
稚園利用者』での「その他」や「一時保育利
用機会の充実」への回答が多い傾向が見られ
ます。『保育園利用者』では、「ない」の回
答が2割弱と3属性の中で最も回答が多くな
っていますが、他の項目への回答率は“安心
して利用できる店舗”以外、『児童館利用者等』
の回答傾向と類似しています。（図7）

（5）「子育て応援シール」について

昨年の懇談会でのグループディスカッションの際、「地域で子育てをいつでも応援するよ
～声をかけてね～」の印として『子育て応援シール』を作成し、個人宅の玄関にはってもら
ってはどうか」という提案がされました。今回の調査
では、その提案を受けて「子育て応援シール」に対す
る実際の意見を聞いてみました。

①「子育て応援シール」に対する考え方

「このようなシールがあれば、子育てで応援を頼みた
い時、近所の方に声をかけやすくなると思いますか？」
との質問に、「そう思う」と回答したのは約3割でした。
一方、「そう思わない」との回答が「そう思う」を僅
かに上回り32.1%、「わからない」への回答が最も
多く36.8%という結果でした。（図8）

図6 『こんなものあったらいいな』＜複数回答＞（n=296）

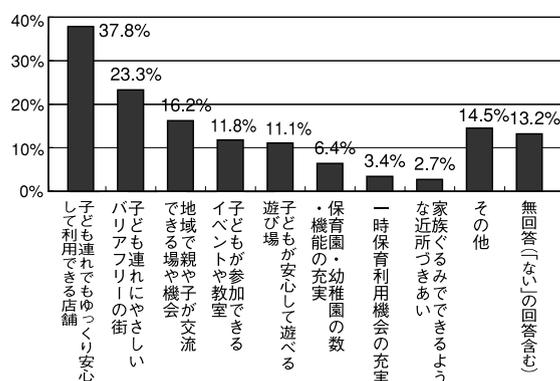


図7 『こんなものあったらいいな』＜属性別・複数回答＞

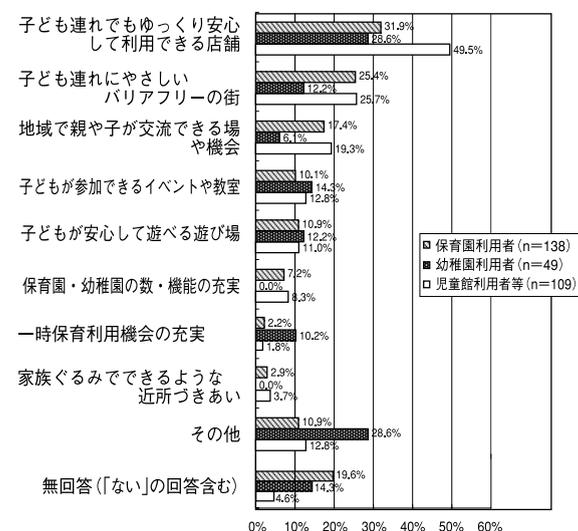
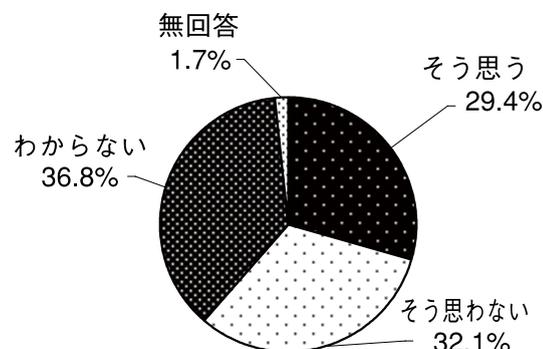


図8 「子育て応援シール」あれば声をかけやすくなるか（n=296）

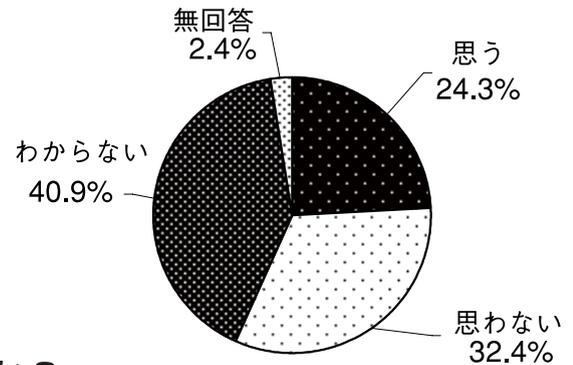


②自宅に「子育て応援シール」をはるることについて

「子育て応援シール」を自宅にはるることについて、よいと「思わない」（32.4%）が「思う」（24.3%）を8ポイント程度上回った結果となりました。また、「わからない」が4割以上の回答となっています。

この結果については、別途「子育て応援シール」に関する意見を自由記述で質問しており、その回答内容から、回答者が現在子育て中であること、マンションの個別の玄関にはっても見ないのではないか、よく知らない人に子どもを託すのは不安、防犯上の問題があるのでは、などの意見を反映したものと推察されます。（図9）

図9 「子育て応援シール」自宅にはってもよいと思うか (n=296)



(6) 子育てに関する話をもっときかせていただけるか？

調査では、このアンケート調査に回答いただいた方を対象に、より詳細な子育てに関する話をヒアリングさせていただくことを想定し、「子育てに関してもっとお話をきかせていただけますか？」と設問したところ、「はい」が37.8%、「いいえ」が43.2%、「無回答」が18.9%でした。（図10）

さらに、「はい」と回答した方に連絡方法をたずねたところ、「メール」が半数以上の回答でした。（図11）

図10 子育てに関する話をもっと聞かせていただけるか (n=296)

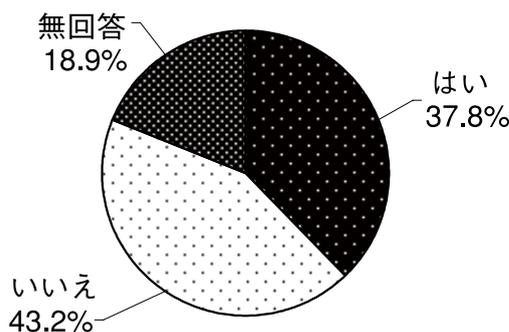
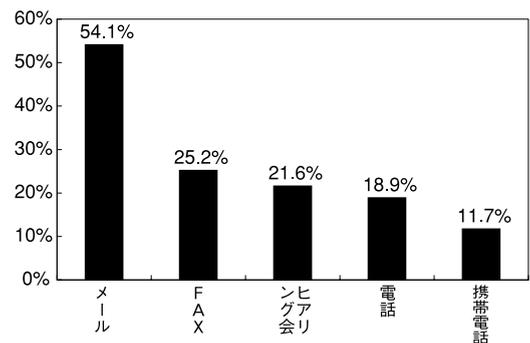


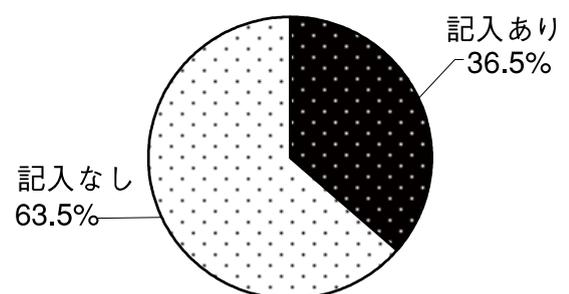
図11 連絡の方法<複数回答> (n=111)



(7) 自由記述について

調査票最後に自由記述欄を設けたところ、回答者のうち36.5%の方が記入してくださいました。子育て中の素直な気持ち、不安やいろいろな感じながらも子どもの成長を願う気持ち、そして今後の港区における子育て支援施策の一層の充実を期待するなど、さまざまなお意見や感想をいただきました。（図12）

図12 自由記述の有無 (n=296)



参考資料 港区の統計

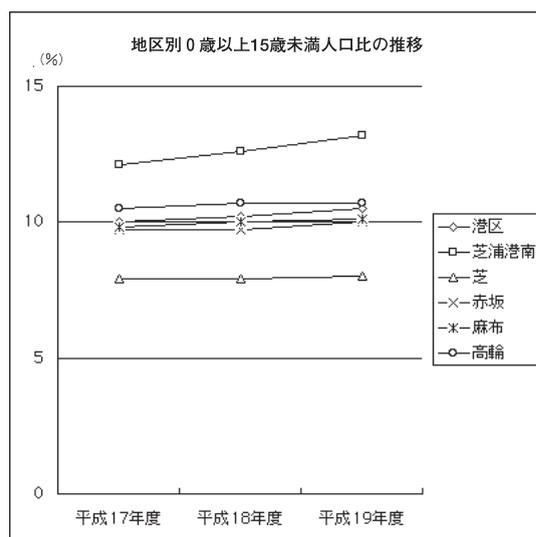
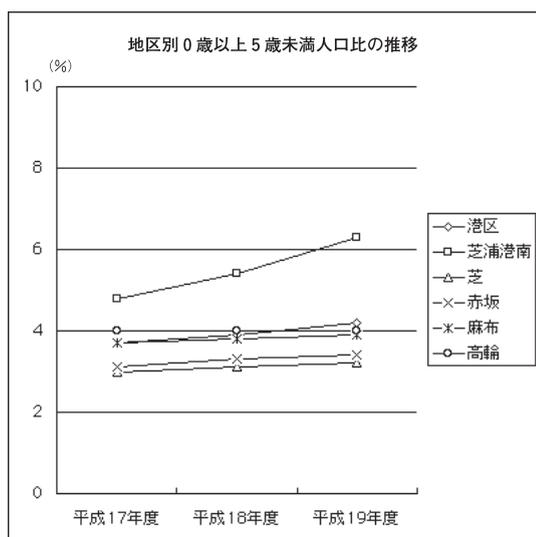
●地区別の年少人口の推移（各年12月1日現在）

（単位：人）

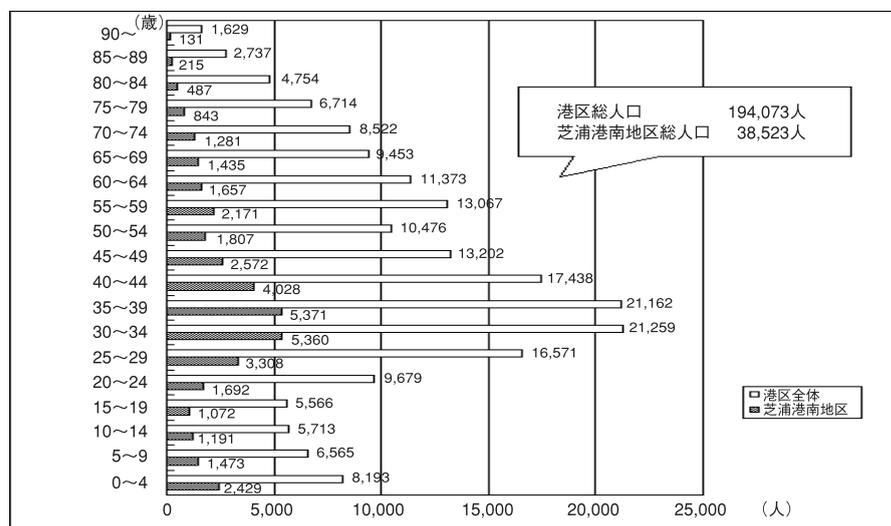
	芝浦港南			芝			麻布		
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	25,851	30,784	38,523	28,541	29,579	30,375	43,528	44,367	44,659
0～4歳人口	1,251	1,681	2,429	852	913	968	1,631	1,699	1,763
5～9歳人口	1,017	1,192	1,473	695	745	781	1,387	1,423	1,483
10～14歳人口	868	1,001	1,191	711	691	685	1,254	1,299	1,285

	赤坂			高輪			区全体		
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	29,054	29,051	28,923	49,146	51,488	51,611	176,120	185,269	194,073
0～4歳人口	909	949	974	1,916	2,071	2,059	6,559	7,313	8,193
5～9歳人口	977	980	1,009	1,738	1,838	1,819	5,814	6,178	6,565
10～14歳人口	937	899	909	1,520	1,596	1,643	5,290	5,486	5,713

●地区別の年少人口比率の推移（各年12月1日現在）

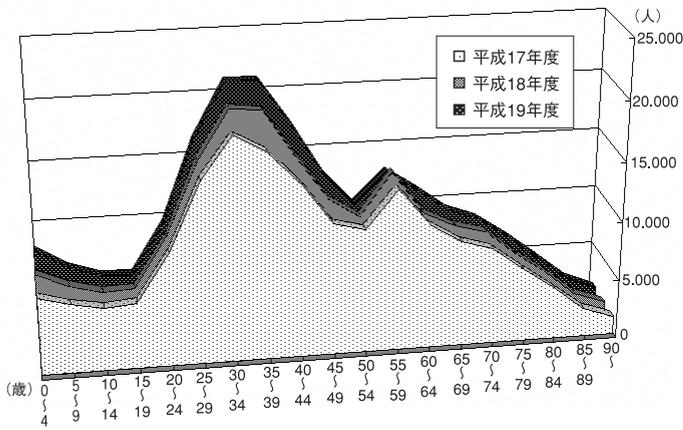


●港区全体及び芝浦港南地区年齢別人口（平成19年12月1日現在）

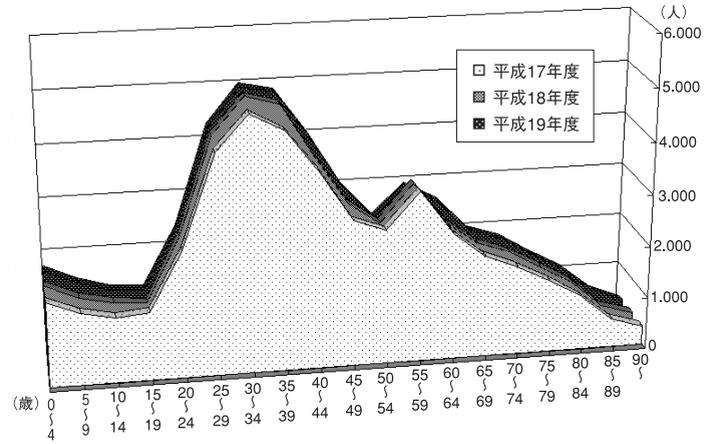


●年齢別人口分布の推移（各年12月1日現在）

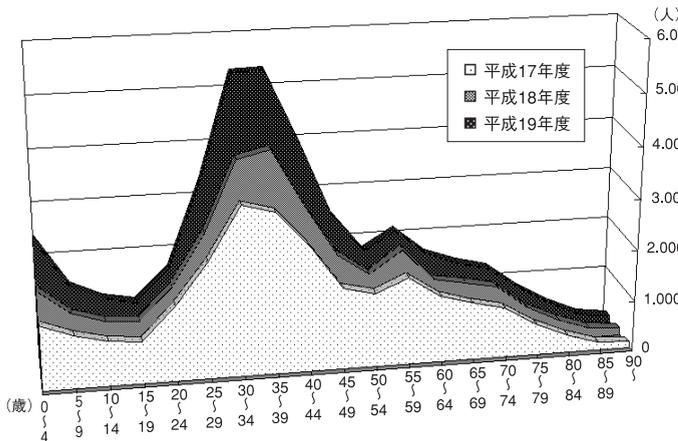
【港区全体】



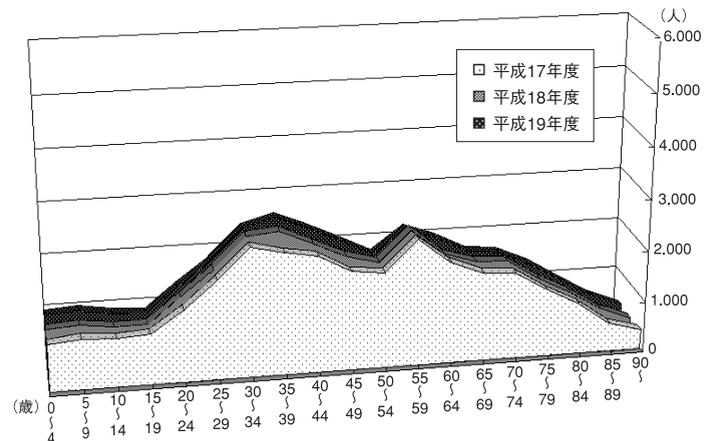
【麻布地区】



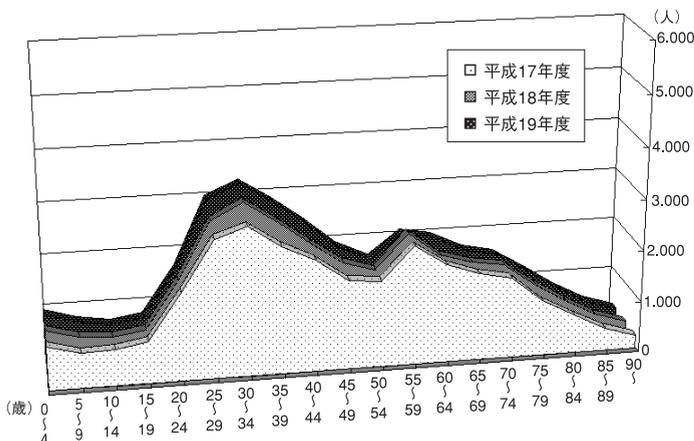
【芝浦港南地区】



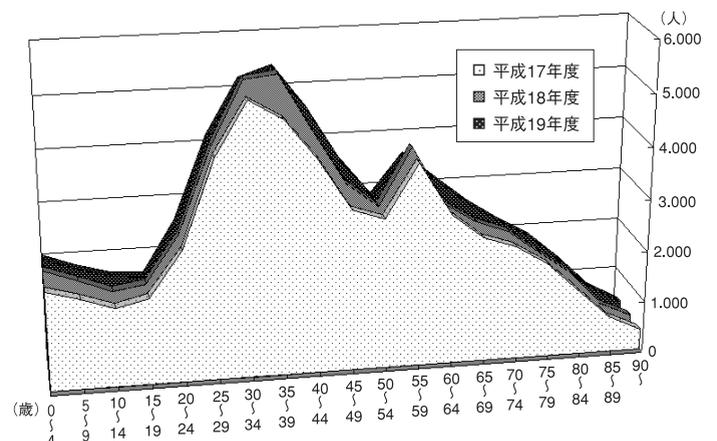
【赤坂地区】



【芝全体】



【高輪地区】



アンケート調査結果を受けて

みなと子育てネットWa.Wa.Waから3つの提案

提案隊長／みなと子育てネットWa.Wa.Wa 志牟田美佐子

港区の統計・年齢別人口分布の推移ですが（P18～19参照）、現在このベイエリアといわれる芝浦港南地区の人口はおよそ39,000人。この1年で7,700人余り増加して、前年の1.25倍、2年前の1.5倍の人口となっています。特に、0～4歳と30代から40代前半にかけての働き盛りの年齢人口が急速に増加しています。0～4歳の人口比率は6.3%、14歳以下の人口比率は、13.2%と他地区よりも高い比率を示しています。折れ線グラフの年少人口比率の推移を見ても、芝浦港南地区だけが右肩上がり、急激に子どもが増加していることが、データからもわかります。



しかしながら、倉庫やオフィスが立ち並び、居住者の少なかったこの地区で、生活する上で必要な施設やソフトの整備が、このような人口増加に対して遅れているのではないかと私たちは考えました。そこでこの地区に住む子育て中の方々の困りごとを、私たちの視点で聞いて、必要な手立ては何なのか考えてみようということになりました。

アンケート調査の項目は大きくわけて4つです。調査票P13をご覧ください。

「子育てで困ったこと、困っていること」のある・なしについては、9割の方が「困っている、困ったことがある」という回答でした。以下、アンケート調査の結果と分析についてはP14～17をご覧ください。子育てをしていて「こんなものあったらいいな」と思うものについては、第1位が「子連れでもゆっくり安心して利用できる店舗」が群を抜いて多い要望でした。以下、「子ども連れにやさしいバリアフリーの街」、「地域で親や子が交流できる場や機会」でした。人や地域での「交流」については、より親しい関係である「家族ぐるみの近所づきあい」が2.7%にとどまり、人との交流を求めながらも、プライバシーを大切にする現在の子育て世代の特徴が表れているように感じました。

回収したアンケート用紙のほとんどに、具体的な訴えがびっしりと書き込まれ、子育てで困っていることを切実に感じました。

今回の芝浦港南地区の子育て中の皆様のご意見を元に、私たちみなと子育てネットWa.Wa.Waでは、地域で子育てを支援する3つの提案を考えました。

(1) 子育てにやさしい店の基準づくり



|||| P21

(2) 子連れで集えるオープンスペース大募集！



|||| P22

(3) 子育てバギーキャラバンやりま～す！



|||| P23

(1) 子育てにやさしい店の基準づくり

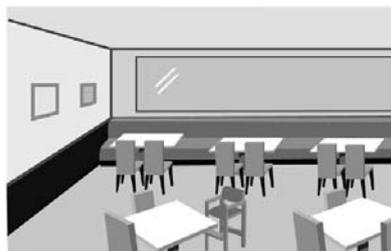


「子どもと一緒に楽しくお出かけしたい！」ベビーカーでの移動のしやすさ、ベビーシートの設置など赤ちゃん対応ができているのはもちろん嬉しい。

でも、キッズカフェのような設備はなくとも、お店の方の心からのWelcomeが感じられれば、何度でも行きたい！お店のやさしい雰囲気も大切です。

そんなお店の入り口に『子連れOK』とわかるシールが貼ってあると便利です。でも、お店の方では子連れ客のことどう思っているのかしら？

利用者のマナーも合わせて、子育てにやさしいお店ってどんなお店なのか、一緒に考えてみませんか！



● 「子育てにあったらいいな。こんなもの」の

● 第1位は「子連れでもゆっくり安心して利用できる店舗」です。

● 現在、芝浦港南地区で増加している30～40歳の世代は、学生時代がバブル経済で食べ歩き、社会人になる頃には、就職氷河期で厳しい現実をつきつけられて、といった浮き沈みを生き抜いてきたといわれてきました。見た目の華やかさとは裏腹に、合理的堅実に生きてきたといえるでしょう。

● お買い物の途中やちょっとお出かけの途中、子どもと一休みするのにいつものファストフードやファミレスだけでは物足りない。港区は素敵なお店がたくさんあるのだから、いろいろなお店を新規開拓して友だちに教えてあげたい。本物の味とサービスを子どもにも体験させたい、という思いもあります。そんなちょっとした非日常を日々の生活の中で取り入れられたら、育児ストレスを発散できるのです。

● ベビーカーでの移動がしやすい、ベビーシートの設置など赤ちゃん対応ができていのかどうか、設備の面やお店の方の対応において子どもへの配慮があると、また来ようと思いますし、友だちにも教えたくくなります。

● 港区の元気^{マル}食認定制度のような、お店にとっても宣伝になるし、イメージアップになるというような「子育てにやさしいお店の条件」とはどんなことなのか、みんなで話し合ってみたいと思いました。

● 一方で、子ども連れはうるさくて迷惑と思う方もいらっしゃるでしょう。子どもを連れて出かける時に、周りの人に嫌な思いをさせないマナーについても出し合って、みんなが心地よい空間になる「子育てにやさしいお店」についても一緒に考えてみたいと思いました。



(2) 子連れで集えるオープンスペース大募集！

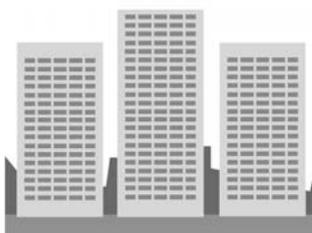


お出かけの途中で一休み（授乳やオムツ交換、ママも給水など）したり、ちょっとわからないこと（お店、医療機関などの地域の情報や子育てに関すること）など聞いたりできるオープンスペースがあると便利ではないでしょうか！

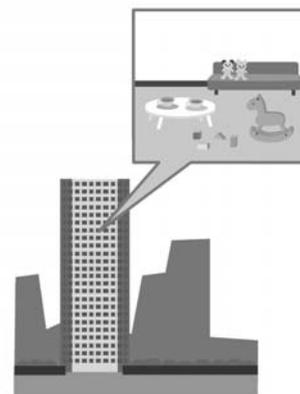
昨年度の懇談会で、「子育てを応援する個人のお宅に『子育て応援隊シール』を貼って地域ぐるみの子育て支援をしよう！」という提案がありました。個人宅ではなくて、テナントビルの空いているスペースや、寺社やマンションの集会室などを子連れの人が利用できるように貸してくだされば助かります。

地域の子育て支援スポットを貸してもらえたら、がんばって運営するパパやママ、おじいちゃん、おばあちゃん、地域で活動するグループはあります。

オフィス・テナントビルの空いているスペース



タワーマンションの集会室



お寺や神社などの集会室



● **子育て支援スポット（子育てをみんなで支え合い、交流できる居場所）に「子育て応援シール」があったらいいかもしれません。**

● 昨年度の懇談会で、「子育てを応援する個人宅に『子育て応援シール』を貼って地域ぐるみの子育て支援をしよう！」という提案がありましたが、「セキュリティーの問題で個人宅では不安である」といったアンケートの回答もありました。

● そこで個人宅ではなくて、「子育てを共有できる場所」という視点で考えてみました。児童館や中高生プラザといった港区の施設だけではなく、ちょっとした子育て支援スポットがあちこちにあったらいいなと考えました。

● 港区には様々な地域資源があります。テナントビルの空いているスペースや、お寺・神社・教会・マンションや町内会の集会室などを、子連れの人が利用できるように貸してくだされば助かります。

● 地域の子育て支援スポットとして貸してもらえたら、がんばって運営するパパやママ、おじいちゃん、おばあちゃんなど、地域で活動するグループはあります。運営については様々な課題があると思いますが、行政主導ではない、港区ならではの地域で子育てをするための場所として、子連れで集まって安らぎを感じることでできるオープンスペースを運営したいと考えました。

(3) 子育てバギーキャラバンやります！

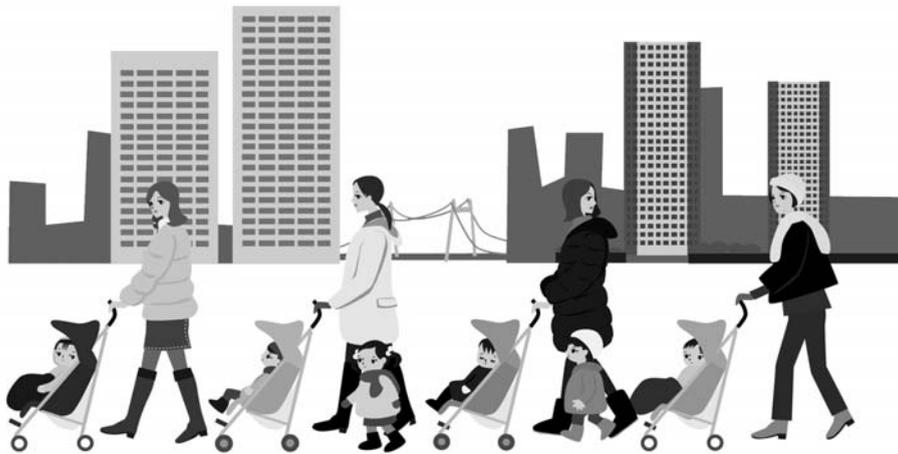


小さな子どもと抱っこやバギーで一緒に出かけると、出会いや発見がたくさんあります。

みんなで一緒に子連れで街歩きして、子連れOKのお店や遊び場を見つけましょう！

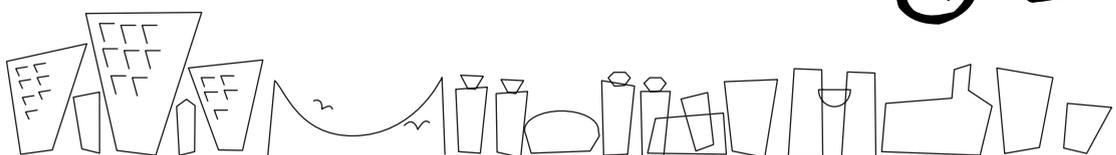
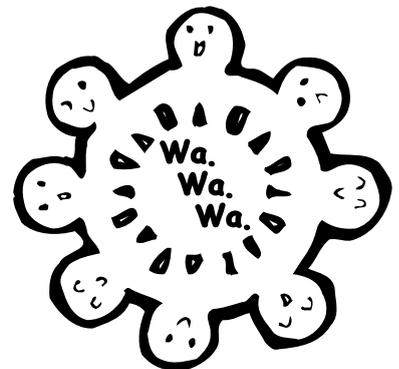
危険な場所がないかもウォッチングします。

「子連れお出かけマップ」を作って、子育て情報を共有しませんか！



- 小さな子どもと抱っこやバギーで一緒に出かけると、
- 出会いや発見がたくさんあります。
- 港区は小さな子どもが増えたことをみんなで
- いっしょに街歩きしながらアピールしよう。

子連れOKのお店や遊び場、危険な場所などをウォッチングしたいです。
バリアフリーマップに、子育ての視点を加えたいと考えました。
街歩きしてみてわかったことを『子連れお出かけマップ』にして、
子育て情報を共有したいと思います。



港区地域

芝浦港南地区編

こぞって子育て懇談会

子育てをささえる地域創りとは…



懇談会（ラウンドミーティング）の始まり始まり～

みんなで聞こう・いっしょに話そう。

でもその前に・・・みんなでリラックス アイスブレイク！

進行／みなと子育てネットWa.Wa.Wa 川森玲子



質問タ～イム！

どんな人が集まっているのかな？
4色のカードを使って答えてね



質問1 「皆さんの立場を教えてください」
子育て当事者？ 商店企業？ 地域活動者？ その他？

質問2 「住んでいるのは？」
芝浦港南地区？ 港区？ 都内？ 都外？

質問3 「会場までの交通手段は？」
徒歩？ 自転車？ 電車？ 車？

結果、参加者に多かったのは…

- ・地域活動者(子育てグループ、民生児童委員、NPO)
 - ・芝浦港南をはじめ港区内在住の方
 - ・徒歩、電車で来場した方 …でした。
- 同時にいろいろな立場の方や、遠く都外から(!)
の参加があることがわかりました。



みなと子育てネットWa.Wa.Waの
3つの提案から
「もっと深めたい！」「ひとこと言いたい！」
テーマを選んでグループに分かれます。

さあ、いよいよ！
懇談会(ラウンドミーティング)
です～！

懇談会 (ラウンドミーティング) 進め方

- ラウンドミーティングは、各グループの「ファシリテーター」が進行します。
- はじめての方との出会いも多いと思います。
まずは、両隣やお近くの方と自己紹介しましょう。
お名前・所属があれば所属も・どちらから？などなど・・・
- お近くの方3～4人と小さなグループになってください。
いろいろな色の名札の人が集まれるといいですね～♪
- 選んだ<提案>について、意見・感想を出し合ってください。
- グループ全体で、どんな意見や感想が出たか共有します。
意見等を応援隊メンバー（青トレーナーの学生）が記録します。
- 3時以降の全体場で、意見等を報告し共有しましょう。

ラウンドミーティング3つのお約束

- ・どんどん話をしましょう。
- ・他の人の話も聴きましょう。
- ・アメをなめながら気楽にお話ししましょう。



子育てに やさしい店の 基準づくり



グループ内意見

ハードよりソフト。
心のバリアフリーが
必要だ。

ネットで「子連れで
入れるお店」を検索
しても少ない。

地域コミュニティの
ネットワーキングが弱く、
地域で目を届かせる
子育ては難しい。

採算を考えると、
飲み屋が多くなる。

港区内のお店全てに
「子育てにやさしい店
シールを貼ろう」
と声掛けしよう。

子育ては、税金で補助する
レベルではない。
障がい者等もっと大変な方がいる。

ママ自身の
マナーも大事。

子連れの自分たちは
甘いと思った。

保育園の絶対数が
足りない。

商店会の立場で
いろいろ取り組んでいる。

子育てにやさしい
地域の店を
支えていく努力も大切。

学生による
「子育てにやさしい店の
ガイドライン」を作り、
プロジェクトを立ち上げよう。



出かけたい
気持ちになるような
仕掛けづくりが必要。

新住民に協力姿勢が
みられない。

子連れからも
店に伝えることが大切。

子どもがうるさく、
他の客からよそへ行こうと
言われてしまうと
店として死活問題。

子どもの時期は
大切な時期ということ
を社会で大事にしようと
共有できるといい。



企業も努力している。

区が土地を買いあげ、
店は無理でも、
屋台やオープンカフェなど
なら経営できるだろう。

グループリーダーからの報告

お店側は、採算が重要課題となるので、「子連れ歓迎とはなかなか言えない」との意見があった。しかし、芝浦港南地区は、元々住んでいる方もいるが、新しく移って来た方も多く、街としてのネットワークが弱い地域なので、「採算よりも、将来この地域を担っていく子どもたちを育てるという意味で、子連れで行きやすいお店を増やそう」という考えにしていかななくてはいけない」という意見が出た。

お店の基準については、「子育てにやさしい店」とは、「ハード面よりもソフト面、つまりお店側の気持ちの方が大事」という意見もあった。「お店の方が歓迎して『いらっしゃい』という気持ちでいてくれたら、子連れで行っても心地よい思いができるのでは」という話があった。

お店に『子連れOK』というシールを貼る案について、お店側から「貼ってもいい」と言われるのを待つのではなく、行政側から一律にシールを配布し、貼ってくれるかどうかはお店の判断だが、貼ってくれるお店が徐々に増えていけばいいという意見が出た。

子連れにやさしいお店をせっかく作っても、採算が合わず潰れてしまうことがないように、地域でお店を守って盛り立てようという気持ちが必要という意見も出た。

採算に関し、「子連れを歓迎する前と『子連れを歓迎しますよ!』と、お店として打ち出した後とで、実際に営業成績が変わったかを、データ調査し、その結果を企業に報告すれば、賛同される企業も増えるのではないか」という話があった。

この会の主催でもある明治学院大学をはじめ、大学の先生もたくさん関わっているので、「子育てに何が大事なのかとか、子連れでお店に行くことに協力することはすごく価値がある、ということを先生方が広めてくれると、地域に浸透し、みんなで協力していこうという気持ちができるのではないか」という話が出た。





子連れで集える オープンスペース 大募集

グループ内意見



地元商店の
空きスペースは全くない。

子育てが終わっても
スタッフとして関わろうと
思わせる仕組みを作る

子育て支援活動を
やりたい気持ちはあっても、
場所の確保が一番難しい。

区が土地を買い、
子連れで集える
オープンスペースを作り、
その運営を、地元の子育て当事者や
地域の活動者に任せるとよい。

比較的安心な場所は、
学校の空き教室を
探すとよい。

芝浦港南地区の
商業スペースは店舗で埋まり、
新たに、自由に子連れで
集える場所は少ない。

ニーズの調査と整理が必要。
ニーズに合うように、
スペースを作るとよい。

自分が思っているニーズを、
個人の意見ではなく、
皆の意見として。

人が集まりやすく、
駅近く等の便利な場所は、
企業が提供できる場所だろう。

安全に安心して
子どもをみてもらうためには、
保育技術のある人が必要。



オープンスペースは欲しいが、
場所の管理や、事故時の責任
という運営面の課題がある。

既存のスペースを、
もっと子育て支援活動者
に知らせる。

長く続ける
スタッフ養成が課題。

場所自体をどのように
活用していきたいのか。

企業より、
お寺等の場所を活用する方が、
地域の方との関わりもでき、
いい空間になる。

場所活用のための
人づくりが大事である。

利用目的別・対象者別に
場所の設定をした方がよい。

自分のやりたいことを、
声に出すことは大事。
自分の周りのいろいろな協力者を
洗い出し、拾い上げる。

グループリーダーからの報告

参加者の中に、「そういう場所もっているから貸すよ～」
といていただけの方がいるのではと淡い期待を持っていたが、さすがにそういう方はいなかった。

活動者の立場から、やはり「場所がない、場所が足りない、
区の施設だけでは足りない」という話になった。でも、「
港区の地域資源って、たくさんあるのではないかな、駅前には
大きなオフィスビルやテナントビルがあり、全部埋まっているの
かな」という意見があった。

高輪地区の方は、「お寺や神社がたくさんあり、寺や神社には
集会室がある。頼めば使えるのではないかな。昔は、保育園を
やっていたお寺もあるので場所があるのではないかな」という
話があった。自分の身の回りの空いているスペースをさがして
みよう、ということだ。あたってみたら、「いいよ」というところ
があるかもしれない。みなが信念・理念をもって、こうした活
動をしたいと言ったら、もしかしたら安く貸してくれるところ
もあるかもしれない。

場所があっても、「理念をもち、責任をもって運営できる人
や団体が必要だ」という話になった。港区には、全国区で活
動している諸NPOやボランティア団体もある。個人レベルの
活動で、自宅の家を提供して、喫茶店をやっているところも
ある。三田地区には、産学協同で空き店舗を利用したサテ
ライトキャンパスもある。「やりたい気持ちはある、でもスキ
ルが足りない。スキルはあるし、やりたいけど、そこに集まる
人がつながってくれないのではないかな。場所と人をつなぐ、
コーディネーションの役割が必要ではないかな、それがあれば、
点々と散らばった点が線になり、面になるのではないかな」と
いう話になった。

理念があって運営する人も集まり、場所も貸そうという
方がいて折り合いが付き、始めていくと、いろいろな問題が
出るだろう。「様々な要望やニーズを調べて、整理して、パ
ターン化して、ルールを決めていく。その場所に集まる人が、
ただ利用するだけの人ではなくて、利用者もその場所を責任
をもって運営していくのだという気持ちになれるような、
そういう場をつくってあげたら、オープンスペースがもっと
あちこちでできるのではないかな」という話でまとまった。



バギーキャラバン やりま〜す!

グループ内意見

まず人を集める。



子どもの成長に合わせて
歩くことも必要では？
からだが密着する
おんぶやだっこも大事。



ベビーカーもマナーを
守ってほしい。



地区ごとに
小さなイベントや
マップづくりを進める。



同世代の
お母さん同士つながれば、
子育ても助けあってできる。



バギーキャラバンで
リフレッシュしよう。
仲間ができれば、
話し合ったり相談し合える
つながりができる。

グループリーダーからの報告

バギーキャラバンを通して新たな発見ができる。そこで立ち寄ったお店側の本音と建前がわかるかもしれない。



情報の広め方の工夫が必要。

高齢者や障がいをもった方に対するバリアフリーと、子どものためのバリアフリーは、どちらも大切だが少しちがう。歩いてみることで新たな発見があるだろう。



「歩くことから始めよう」というキャッチコピーを決め、「子育てバギーキャラバンを段階を踏んで結論にもっていこう」と考えた。大きいところから小さいところへ持っていくことを提案したい。

イベントの規模の大きいところからは始める。ハロウインのときに、その地区の人たちに呼びかけ、みんなで「ちょっと仮装して歩こう」というイベントを行い、たくさんの人が訪れたという例が出た。「他の地域でもそうしたイベントを企画して、まず人を集めることをはじめ、参加者を地域ごとに分け、その地域ごとにマップ作りを促し、細かいところへつなげよう」という意見が出た。

子育て中の人だけではなく、障がいのある方・高齢の方と共に歩き、町中を散策しながら、「ここにはこんなものがある、危険なものがある」ということに気づけたらよい。

「歩きタバコをしている方がいたら、『タバコを歩きながら吸ったらいけないんだよ』という注意もしながら、歩いたらどうかなあ」という意見が出た。

それに伴い、「ベビーカーを押すお母さんのマナーも、皆さんがお気づきになったら、教えてもらおう」という意見もあった。

ベビーカーだけで歩くのではなく、「おんぶ・抱っこ・もしくは子どもを歩かせながら、ということも大切なのは」という話も出た。

そして、「スタンプラリーのおまけをつけたら出やすい」という案も出た。

バギーキャラバンによって、「新たな発見があったり、本音と建前を見分ける目ができる」「みんなで行うことで、リフレッシュする」という意見や、来て欲しいお店には、商売上の効果も考えられる。

バギーキャラバンといっても、ベビーカーを押して歩くということだけではなく、イベント的に何人かのグループで行ってみようという提案である。何人かでお店を廻ることで、お店の基準について考えることができたり、オープンスペースがどんな形であったらよいかという話ができる。まずは、「みんなとつながる」というまとめとなった。

懇談会のしめくりに・・・



～懇談会のまとめとして～ みなと子育てネットWa.Wa.Wa 代表 伊佐見節子より

皆様、お疲れ様でした。ラウンドミーティングでは当初の予定を延長し、活発な意見交換の時間を多くとりました。3つの提案に分かれ、進行はグループによって違いましたが、多くの方から様々な意見をいただきました。辛口コメントも大歓迎です。「なるほど、そういう見方もあるなあ」と気づいたり、考えたり、私たちにとっても提案を見つめ直す良い機会になりました。グループディスカッションから【歩くことから始めよう】という素敵なキャッチコピーも生まれました。会場に足を運んでいただいた皆様に御礼申し上げます。会場に来られなかった方々からいただきました意見と合わせまして、3つの提案について検討しながら、実施できるように、慌てずじっくりと進めていきたいと思えます。

みなと子育てネットWa.Wa.Waは、活動目標であるつながりの輪をひろげていきたいと思えます。ひとりではできないことがつないでいくことによって、可能になっていきます。私たちはつながりを持つことの意味、大切さを感じています。子どもがいる、いない、あるいは働いてる、いないにかかわらず、性別、年齢関係なく、どうぞ気軽にお声かけください。そして、ぜひ、いっしょに歩いていただければとてもうれしいです。

「子どもにやさしい街はみんなにやさしい街」。この港区が住みやすい街、これからも明るい未来のある街でありますように、みなさまと共に進めていきたいと思えます。グループのつながりができつつあるといっても、まだまだ私たちだけでは微力です。どうか、今後もみなと子育てネットWa.Wa.Waをよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。



参加された方からの声

特定非営利活動法人 ワークスコープ 石戸 昭さん

私たちは地域の課題やニーズを区民・市民が仕事としておこす協同組合です。働き方として、地域の関連団体や区民の方々と一緒に、地域の課題解決やニーズの実現をめざしており、地域の方々との連携に重きをおいた活動を展開しています。港区においては「放課後子ども教室事業」として青山小学校内にて「放課GO→青山」 港陽小学校内にて「放課GO→港陽」を、暫定保育室とはなりますが旧飯倉小学校跡地にて「東麻布保育室」と「札の辻保育室」の2園を運営させていただいております。

先日1月26日に行われた「港区地域こそって子育て懇談会」に参加させていただきましたが、「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」の関係者の方々を始め、地域の方々と話しができる、また接点を持つことができる非常に貴重な場と感じました。内容も子育てのしやすい環境づくりを中心に地域の実情に即した、港区を知るという意味でも非常に実りのある懇談会だったと感じております。

そんな私たちが、本年10月より芝5丁目において「(仮称)芝5丁目子育て支援施設」を運営させていただくことになりました。6泊7日以内でお子様をお預かりするショートステイ事業や夜間10時までお子様をお預かりするトワイライト事業、乳幼児の一時預かりや子育て相談、講座の開催等の子育てひろば事業の4事業を中心とした子育て支援の複合施設となっております。

先に述べたように、地域の方々と数多く接し、皆さんと一緒にこの施設を意味のあるものに、皆さんのニーズにあった施設に作り上げていきたいと考えています。改めてご案内させていただきたいと思えますが、地域の方々との懇談会等も催していきたいと考えています。子育て中のお母さん、お父さんを始め、多くの方々と関わりを大切にしながら運営していきたいと思っております。今後とも、よろしく願いいたします。



参加された方からの声

品川駅港南商店会会長 秋山正利さん

●今日の提案について・・・「あまり賛成できない！」

品川駅港南商店会の会長の秋山と申します。お招きいただきありがとうございます。私は今日参加し、かなり辛辣なことを言いました。あまり賛成できないと。私は歯科医でもあり、障がい者の治療もしています。障がいのあるお子さんは、ずっと障がいを抱えたままです。障がいのあるお子さんの親御さんを見て、「あー、少し休ませてやりたいなー」、「ちょっとだけでも預かってくれる施設はないのかな」と思いましたが、ないのです。だから親御さんは、年をとっても子どものために一生懸命世話をしています。

だから今日の話聞いて、子育て中は数年間、もちろん行きたいところに行けないということもあります。でも、そんなことは当たり前の話です。障がい者を抱えた方とちがって、数年間だけのこのために、レストランがどうか、食べに行けないとかをなんで考えなければいけないのか、と正直思いました。

●品川近隣の再開発

実際問題としては、具体的には我々の商店会の地域で、東京新聞さんの再開発が始まりました。約3年後にできあがり、オープンカフェができます。ベビーカーでも来ることができ、公園に面した感じで、保育園もできる予定です。それは我々（商店会）が要望したのですが、私から見たら、贅沢を言っている感じです。

品川駅周辺も再開発されて、昔とは様変わりしました。それも我々が、大企業と交渉しました。昔は大規模小売店舗法があり、大きいビルは建設大臣の許可が必要だったのですが、小泉内閣の改革以降は変わってしまいました。大企業に声をかけてスペースを貸してもらえないかという提案がありましたが、難しいと思います。

ただ今回の東京新聞さんの再開発に関しては、元々が公共的な仕事ですから、街中の防犯カメラの設置等、こちらの要望を聞いてくれました。普通は難しいと思います。私は貸しビル業もやっていますが、品川は今坪5万円の時代です。その金額で、「空いているスペースを貸してよ」というのは成り立たないと思います。

●これからの可能性～住民優遇への突破口・・・?!

今もし可能性があるとしたら、芝浦港南地域の運河沿いの整備中の公園です。あのスペースは、港区のもので、あそこに屋台形式とか、簡単な日中のみのお店をつくり、たむろできるようにするとかは現実的ではないでしょうか。

元々の既存のビルを使うのは相当難しいでしょう。大規模な再開発が行われるときに、住民優遇でやってくれと大企業に交渉し協議をしないと、突破口は開けないと思います。あまりいい話ではありませんが、私はそんなふうに思います。



来年度の 懇談会に 向けて…

企画担当

みなと子育てネットWa.Wa.Waより
来年度へ向けて

2008 nendo

2007年度港区地域こぞって子育て懇談会で
十分に伝えられなかったかもしれない・・・と思ったこと。

2007 nendo

- 「子育てにやさしい店の基準づくり」の提案は、親切なお店や場所だけがほしかったわけではなく、いっしょに子育てすることを考えてほしかったのです。
例えば、今ここに、この地域にも大勢の子どもがいること、子連れの外出がひとりではまならないこと、こもりがちになるママもいること、こんなにたくさんの人が暮らす街なのに、実家も友人も遠くて、簡単に孤立してしまう親子がいること、子育ては一時のことだから、「がんばるのがあたりまえ」と周囲から思われ、自分もそう思い、人に「助けて」をなかなか言えないママもいること。
- 「オープンスペース募集の提案」は、地域の中で、みんなが、昔のように寄り合える場所がほしいという提案でした。そして、その運営は、人任せ・役所任せではなく、自分たちもがんばって関わりたいのです。
オープンスペースに親子で訪れることができ、地域の様々な世代の大人も寄り合ってくれたら、子どもも親もいろいろな人との関わりがもてます。誰もが集えるような、地域の憩いの場になりたい、そこで顔見知りができ、つながりが生まれる場になりたい、と思っています。
- 「バギーキャラバンやりま〜す」の提案は、バギー集団で街に繰り出すイメージがありました。私たちは、「子連れで街を歩きたい」「子どもといっしょに地域の中に受け入れてほしい」「子どもといっしょにいられる地域を知りたい」としています。

でも、2007年度港区地域こそって子育て懇談会で参加者のみなさんとラウンドミーティングを行ってみて、あらためて考えました。

- 子育て当事者ではない参加者とのディスカッションは、反対意見や厳しい指摘もありましたが、それぞれの立場や役割として、よりよい地域社会創りをしたいと感じている方々でした。ラウンドミーティングでのディスカッションで、話しているうちに、意見はちがっても、いっしょにやってくれる方々が参加してくれたのだとわかりました。意見や関心を向けてくださった方々に、今後の味方になっていただけるよう、日常のネットワークづくりを大切にしたいと思います。そして、同世代・異世代の方と共にある地域を創っていきたくて考えています。
- オープンスペース作りの課題は多くありますが、もっともっとコミュニケーションを深め、イメージをつき合わせていけば、地域の中の憩いの場のイメージは、根本は同じではないかと感じました。
- 見方の異なる意見はじめ、様々な意見をもらえた本懇談会。皆さまのご意見を大切に受けとめて、これからの私たちの活動にいかしていきたいと思っています。

2007年度港区地域こそって子育て懇談会を踏まえて来年度はこんな取り組みをしたいと思います。

みなと子育てネットWa.Wa.Waは、今年度にひきつづき来年度（2008年度）も「港区地域こそって子育て懇談会」に向けて、プロジェクトチームを立ち上げメンバーを募り開催へ向けて取り組んでいきます。

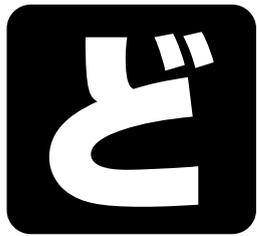
私たちの3つの提案、「子育てにやさしい店の基準」「オープンスペース作り」についてはさらに検討していきます。「バギーキャラバン」は実施し、【子連れおでかけマップ】を作成したいです。そして、マップを皆様へ届けたいと思います。

みなと子育てネットWa.Wa.Waの想い

- ・ 行政や人任せにはしたくないなあ。
- ・ みんなで一緒にやりたいなあ。
- ・ 子育てについてみんなで話したいなあ。
- ・ 私たちができることをしたいなあ。
- ・ つながりの輪を広げたいなあ。
- ・ いろいろな人との関わりのなかで子育てができればいいなあ。



港区立子ども家庭支援センター、明治学院大学社会学部附属研究所及びめいがかくキッズ&ママ・パパ応援隊(学生ボランティア)のみなさんと共に課題を考え、子育てをささえる地域創りの実現に向けて行動していきたいと思っています。

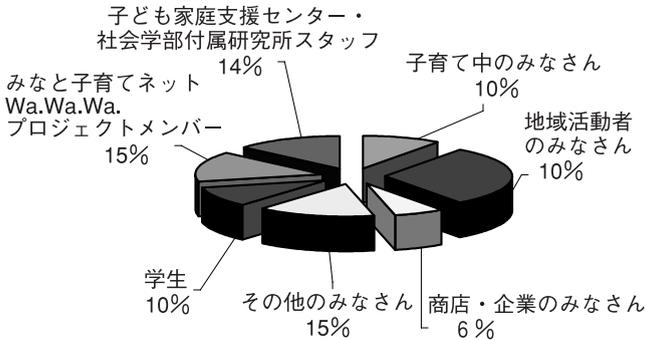


んな人たちが

参加してくれたのかしら？



参加者の状況



『地域活動者のみなさん』とは・・・

民生・児童委員、NPO、子むすび協力員・子育て家族支援者、子育てグループほか

『その他のみなさん』とは・・・

保育園関係者、助産師、区議会議員、行政、研究者、障害者団体関係者ほか

商店・企業のみなさんより・・・

・今後の参考になる懇談会だったと思います。

子育て中のみなさんより・・・

- ・子育て中の方が少なく、残念に思いました。
- ・いろいろな立場の人と考える場は、とても考えさせられました。
- ・現実的なお話ができてよかった。
- ・非常に多くのアイデアが出ていました。これらをまとめて、すばらしい企画につなげてください。

地域活動者の皆さんより・・・

- ・子育てとは何か。生涯発達(大人も含む)を意識することが必要ではないか。子育て(乳幼、学童、思春期)それぞれの発達が充分でないため、いじめ(ネットいじめ含む)、不登校などが生じていることへの課題意識が欲しかった。
- ・テーマがはっきりしていたため、まとまった内容になったと思う。

地域活動者のみなさんより・・・

- ・皆さんの子育てに対する熱い想いが伝わり、少しでもお手伝いできればと思いました。
- ・子育て中のお母さんが、自分の考えを持ち、しっかりしているので感心しました。
- ・いろいろとご意見を聞け、民生委員の活動にも役立てたいと思いました。

地域活動者のみなさんより・・・

- ・区外からの参加なので、地域による事情の違いを感じました。しかし、皆、子育てを支えていこうという気持ちには違いはなく、熱い思いをもっている人たちに会えたことを嬉しく思いました。
- ・子育てが一段落した私にとっては、時代が変わったなど、つくづく思いました。

地域活動者のみなさんより・・・

- ・提案発表は、学会発表のような感じがしました。ラウンドミーティングは工夫があり、スタッフの準備がよくされていると感じました。発表者の要点をまとめる力により、満足度が変化すると思いました。
- ・一緒に考える、行動することは良い事。
- ・自由な発想・発言ができてよかった。

地域活動者の皆さんより...

- ・都会のニーズと地方のニーズはずいぶん違うなという感想。都会はぜいたくに感じる。
- ・会の持ち方に工夫のあとが見えて、楽しく参加できました。

その他のみなさんより...

- ・初めての参加でしたが、熱意ある子育て中の皆さん、地域の様々な立場の皆さんがいらっしゃることを知りました。良い機会になりました。
- ・地域と結びつきながらの子育てが重要と考えています。そのための今日の企画は本当によかったです。
- ・企画のパワーは感じましたが、現役ママがもっとくるとよいですね。

その他のみなさんより...

- ・様々な立場の人が、自由に参加して考え合う場があることは、とても素敵だと思います。このような自主的な場から、いろいろなアイデアが生まれることを願っています。
- ・私の住んでいる新橋は、子育てをしている親はほとんどいません。現在、港区内ではどのような子育て支援をしているのかに関心がありましたので、参加しました。

その他のみなさんより...

- ・子育て中はいろいろ我慢するもの、という考え方がまだ強い中、お母さん方の率直な叫びが頼もしかったです。母は我慢するもの！という考えのため、お母さん方の素朴な声はかき分けやすいと思います。このような、異業種を含めた懇談会は貴重なので、1日限定の開催ではもったいないようにも思いました。

その他のみなさんより...

- ・子育て中のママの生の声の他、いろいろな意見を聞くことができました。活気のある会でした。

- ・子連れOKシール。拡げるために店側（インセンティブ）と利用側（おまけ）があるといい。
- ・年齢差をなくした施設（0から100歳まで）。コミュニケーションの場として「大浴場」がほしい！
- ・子育てにやさしいレストラン等を誘致したい。
- ・子むすびの拡大をし、子むすびステーションを作る。
- ・公団マンション内の集会室を使いたい。区内の寺院へ積極的に声がけしよう。
- ・行政や企業との連携で活動を広げよう。産、官、学、とにかく人との出会いが大切。
- ・親のマナーの自己チェック表を渡そう。
- ・ネットワークと活動の継続。地元と日頃から関わること。
- ・杉並区の子育て支援券。
- ・マップ作りは、子育て、高齢者、障がい者すべての住民のよい暮らしを考えていける。
- ・区立住宅内に子育て支援スペースを作る。
- ・子育て対応バリアフリー化をソフト面も含め進めるために、子育て応援ワッペンをつくろう

3つの提案や 子育てをささえる 地域創りのアイデア

みなと子育てネット Wa, Wa, Waへの メッセージ

- ・引っ越ししてで心強く思い、皆さんの熱い思いに涙が出そうになった。
- ・ロコミでさらに広がることを願っています。
- ・盛会を生かして社会への理解を広げる活動につながれば素晴らしい。
- ・みなさんの活動が今本当に大切だと思う。がんばってください。
- ・がんばればママたち、周囲を巻き込んで大きくなるように願います。
- ・地道にひとつずつ一歩ずつコツコツ未来へ向けてお願いします。
- ・子育て支援は大切が必要だが、母親・子どもとも最低のマナーを身につけられるよう教育してください。
- ・お子さんたちは、地域で活躍するママたちを誇りに思ってくれていると思います。
- ・群れた子育てができるよう、いっしょに考えていきたい。
- ・本当に支援を必要としている人の助けになってください。
- ・現役子育てママのネットワーク作りががんばってください。もっともっと広がるといいですね。

どんな人たちが参加してくれたのかしら？

子育てグループ紹介



みなと子育てネットWa.Wa.Wa
とつながりができた区内で活動中
の子育てグループを紹介いたします。
他にもつながりグループ募集中です。
お気軽にご連絡ください。

みなと子育てネットWa.Wa.Wa

連絡先/Fax.5423-0537 (伊佐見)

メール/minatoku3710@mail.goo.ne.jp

ブログ/http://blog.goo.ne.jp/minatoku3710

青山ライオンキッズクラブ

読み聞かせ大好き、おしゃべり大好きな元気なおやこを応援します^^

- 対象/0歳から未就園児
- 活動内容/読み聞かせを中心に、親子遊びや工作、子育てセミナーの開催や、ライオンキッズまつりなど・・・
- 活動場所/港区立青山児童館
- 活動日時/毎月第4金曜日 11:00~12:00ごろ
- 会費など/特にありません
- 連絡先/lion_n@mail.goo.ne.jp
- その他/http://blog.goo.ne.jp/lion_n/

おさんぽくらぶ

外に出れば気持ちも晴れ晴れ!

- 対象/子連れでお出かけすることに興味がある方
- 活動内容/港区&近隣地区の子連れお出かけ情報の紹介
- 活動場所/明治学院大学社会学部附属研究所
- 活動日時/不定
- 会費など/特にありません
- 連絡先/osanpobox@yahoo.co.jp

おおきなき

いろんなこと話してスッキリしませんか!

- 対象/特にありません
- 活動内容/子育てについて学ぶものやリラックスする内容など、いろいろな分野から講師を迎え、保育付きで座談会形式の講座(10月頃)の企画運営。様々なテーマで話し合える場ということで毎月一回の「はなすかい」を主催。
- 活動場所/明治学院大学 社会学部附属研究所
- 活動日時/はなすかい 毎月第4金曜日 無料
10:30~12:30
- 連絡先/ookinakinotoko@yahoo.co.jp

高輪ハッピーママーズ

ゴスペル歌って気分はハッピー

- 対象/男女問いません。お子様連れ大歓迎です。
- 活動内容/ゴスペルの練習、イベントの参加。
- 活動場所/高輪児童館、高輪福祉会館、他
- 活動日時/月2~3回 10:00~12:00
- 会費など/入会金1000円
参加費(毎回)500円 *体験あり
- 連絡先/090-5525-8148 (伊佐見)
- その他/約50名のメンバーがいます。
保育ボランティアあり

子育てグループ紹介

さこだ運動遊びクラブ

運動遊びを通じて心も身体も元気！元気！

- 対象／親子1才～幼児中心、(小学生低学年も可)
- 活動内容／年齢別に運動遊び全般を行っています。お母さんと一緒に動いてもらい(幼児クラスは補助等も)おうちでも出さるように指導しています
- 活動場所／港区スポーツセンター中心
- 活動日時／問い合わせ下さい
- 会費など／月会費制、問い合わせ下さい
- 連絡先／3471-8250 (裕田栄)
sakae-@di.pdx.ne.jp(携帯アドレス)
- その他／2児の母も努めながら、運動や食育に関する講師もしております。

ちびっ子ナイト養成倶楽部

どうせ子育てするならナイト(紳士)に育てようをコンセプトに親も子も楽しめる会を行っています！

- 対象／制限はありませんが、内容は子連れで参加OKのものばかりです。
- 活動内容／講師を迎えチャンバラやダンス教室。季節の行事にちなんだパーティーなど。
- 活動場所／明治学院大学社会学部附属研究所、他
- 活動日時／不定期
- 連絡先／ちびっ子ナイト養成倶楽部
<http://k.fc2.com/cgi-bin/hp.cgi/chibiko-club/>
- その他／詳しくはHPを御覧ください。「作者にメール」からお問い合わせ、参加申し込み等受け付けております。

Den of Delight (デンオブディライト)

ゴスペルをみんなで楽しく歌ってます。子育て中のストレスも大きな声で歌うとスッキリしますよ～！メンバー大募集中です。一緒に歌いましょう。

- 対象／子育て中のママ中心に活動中です。
- 活動内容／講師の先生との月3回の練習と、イベントへの参加が主な活動です。
- 活動場所／新橋児童館、リーブラなどで練習しています。
- 活動日時／主に平日10時～12時
- 会費／入会金1000円
会費1レッスン500円(講師の先生への謝礼として)
- 連絡先／nico.nico.527@ezweb.ne.jp (小西)
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/karimero-marimero/>
よろしくお願いま～す

Baby English☆Little Star

親子英語サークル

- 対象／1歳～2歳児の親子
- 活動内容／英語の歌や手遊びを通して、親子で英語に親しむことを目的としたレッスンをしています
- 活動場所／みなとキッズサポートセンター2階
地域活動室
- 活動日時／毎月最終土曜日 11:00～12:00
- 会費など／1回500円
- 連絡先／babyenglish_littlestar07@ybb.ne.jp



みなと子育てネットWa.Wa.Wa

連絡先/Fax.5423-0537 (伊佐見)
メール/minatoku3710@mail.goo.ne.jp
ブログ/http://blog.goo.ne.jp/minatoku3710

ポニーの会 (新日本婦人の会港支部)

子育ての不安や喜びを一緒に分かち合える仲間に出会える交流の場です。

- 対象/乳幼児のお子さんと保護者の方や地域で子育てを支援したいサポーターの方。
- 活動内容/赤ちゃんマッサージやリズム体操、絵本の読み聞かせや手遊びなど。お花見、水遊び、クリスマス会など、四季折々の行事もみんなで話し合って開催します。
- 活動場所/みなとキッズサポートセンター (第1・3木曜) 飯倉福祉会館(第2・4木曜) *会場が変更になることがありますので、お問い合わせください。
- 活動日時/毎週木曜日10時半~正午
- 会費/毎月1000円(新婦人しんぶん代金含む) 入会金1000円
- 連絡先/090-8101-3063 (しむた)
- その他/ブログ <http://www.goo.ne.jp/ponynokai>

La.La.La.

一緒に楽しく

- 対象/0から未就学の親子
- 活動内容/①料理講座 親子クッキング
②遠足・農作業体験
- 活動場所/リーブラ4階調理室・ほか
- 活動日時/月一回 木曜日 10時~12時
- 会費など/材料費など実費
- 連絡先/lalala-blooms@googlegroupus.com

きしゃっぽっぽ

本の読み聞かせを楽しみませんか

- 対象/本が好きの人、読むことが好きな人(会に入る人の意味です)
- 活動内容/子供達に本の楽しさ、お話し面白さを伝えるために「お話し会」をしています。
- 活動場所/現在は図書館、幼稚園、児童館、保育園など
- 活動日時/要望に応じて開催しますので、午前又は午後になることもあります。
- 会費など/会への年会費として年額2,500円です。
- 連絡先/吉村紀子 03-3440-0371

フラ・ウラウラ

みんなで楽しくフラを踊りましょう♪

- 対象/初心者でも大丈夫です。
- 活動内容/毎月2回(金曜日)講座があり、まなび屋より先生をお招きしています。
- 活動場所/子ども家庭支援センター(みなとキッズサポートセンター) 芝福祉会館
- 活動日時/月2回 金曜日のみ(不定期)午前中の1時間
- 会費など/先生へのお月謝が1000円。
場所代がかかる場合は割ります(300円くらい)
- 連絡先/03-5442-1154 (犬飼)

その他には、お台場にある子育てサロン「海の会」。場所や日時は不定期です。詳しくは、みなと子育てネットWa.Wa.Waにお問合せください。他にもつながりグループ募集中です。お気軽にご連絡ください。

Question

スタッフの感想

みなと子育てネットWa.Wa.Waプロジェクトメンバー
めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊
明治学院大学社会学部付属研究所
港区立子ども家庭支援センター

- ① 今回の担当は？
- ② 感想を一言でいうと？
- ③ 準備段階は？
- ④ 当日はどうでしたか？
- ⑤ そしてこれからどうしていきたいですか？
- ⑥ その他なんでも自由に書いてください。

「La.La.La.」宇山 真紀子

- ① 掲示担当、寸劇
- ② チームワークってすごい。
- ③ 一人ひとりの責任感と参加意欲に感謝しています。
- ④ たくさんの地域の方にご参加いただき、うれしかったです。寸劇に参加しながら、「この台詞は私のせりふ？」と振り返りました。
- ⑤ 「こうだったらいいのにな。」をみんなと一緒に考えて、実現していきたいです。
- ⑥ ずっと子どもとかかわって生きたいです。

「高輪ハッピーママーズ」

宮川 純子

- ① 総合司会
- ② メンバー間の信頼関係に感謝！
- ③ 個人的には準備にあまり関われなかつたです……。でもそれを引け目に感じさせない雰囲気、助け合う思いやりの気持ち、自分がWa.Wa.Waの仲間のひとりで良かった、と感じさせられました。
- ④ もっとママ友達グループにも来て欲しかったな。
- ⑤ これから港区全域で懇談会が開かれ、いつも、どれにもWa.Wa.Waが関係していけたら嬉しいです。
- ⑥ Wa.Wa.Waのメンバーももっと大きくなれるかな、なれたらいいな。

「La.La.La.」金地 晃

- ① 寸劇
- ② 沢山のエネルギーをいただきました
- ③ あまりお手伝いができずすみませんでした・・・
- ④ 多くの方々に支えられて生活をしているのだなぁと改めて実感いたしました。
- ⑤ 少しづつでも前進して行けたら良いなぁと思います。
- ⑥ 皆さん 素敵～!!

「青山ライオンキッズクラブ」

大西 麻子

- ① 寸劇でちょこっとならべました。
- ② 無事に終わってほっとしています。
- ③ 思うようにスケジュールが合わず、みなさんに助けられました。
- ④ いい意味での緊張感もあり、膝詰めでいろんなお話が聞けてよかったです。
- ⑤ こぞって懇談会での皆さんの声を一つでもなにかの形にできたらいいなと思います♪
- ⑥ こどもたちに未来を託して、なにか自分のできることを伝えていきたいな☆

Answer

「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」

川森 玲子

- ① アイスブレイク&グループ分け。
- ② とても楽しかったです。
- ③ 間に合うかどうか…と心配でしたが、役割分担とチームワーク！見事に団結できました。
- ④ ドキドキしました。でも、とっても楽しくてあっという間でした。
- ⑤ みんなでチカラを合わせて創りあげていくことの魅力にとりつかれています。そんな活動、続けられたらいいな。
- ⑥ 港区もWa.Wa.Waもこれからますます盛り上がっていくんだろうな。楽しみです♪

「Denof Delight」小西 智美

- ① 寸劇に出ささせていただきました。
- ② 応援隊さんに一人混じって、自分も若いママの気分が楽しかったです。
- ③ 予定が合わず後半の準備や営業などほとんど参加できず申し訳ない気持ちでした。
- ④ 子育て中のママ達の参加が少なかったのが残念でしたが、色々な方とお話できたのは貴重な機会でした。
- ⑤ この会議の結果を次の活動につなげていけたら嬉しいです。キャラバン隊楽しみにしてます。
- ⑥ 私にとって学ばせてもらえることの多い皆さんとのWa.Wa.Waの活動を通してつながりを増やしていけたらいいなと思います。

「新日本婦人の会港支部ポニーの会」

志牟田美佐子

- ① 提案隊長、アンケートと提案の説明、ファシリテーター
- ② 久々のお仕事モード。
- ③ おまつりさわぎ！？学園祭の前のあのかんじ！青春、汗と涙です。
- ④ ぶっつけ本番の寸劇には、ハラハラしましたが、すごくよくできていて感動しました！第一部がまいたので、ラウンドミーティングは、時間がたっぷり取れて様々な意見がきけて懇談会の意義を感じました。
- ⑤ 地域に散らばっている子育て支援活動とニーズを調整する役割や機能を強化する必要性を感じました。行政も、育児当事者も、地域のみなさんも、一緒になって、知恵を出し合っていけるようにしたいと感じました。つながりを広めていくために、育児サークルや子育て支援活動をしている人たちにこちらからアプローチして、まずは「バギーキャラバン」を実現したいと思います。
- ⑥ 同世代のみなさんが、子育てに悩んだり、子どもや仕事や日々直面する様々な問題と向き合っていて懸命に生きているということを感じました。自分だけではなく、だれもが戸惑いながら必死に自分なりのこたえを求めてもがいているんだなど。懇談会に関わってくださったすべての人に様々なことを教えていただき、励まされました。そして私を応援してくれた夫と子どもたちに感謝します。この時期を元気にすごしてくれてありがとう。

「La.La.La」中鉢 康子

- ① 受付
- ② 無事に終わって感無量です。
- ③ 準備段階は？年が明けてちょっと準備に焦りましたが、当日をバッチリ迎えられました。
- ④ 昨年も来てくださった方から「今年のほうが楽しかった」と声をかけていただきうれしかったです。
- ⑤ こぞって懇親会での提案の実現にむけて出来る事からやりましょう。
- ⑥ 子供が4月から小学生になるので小学校の事などアドバイスをしてください。

「おおきなき」廣田 千秋

- ① 広告隊長、寸劇（モモコ役）、ファシリテーター
- ② 中味の濃い充実した時間
- ③ めげそうになりましたがみんなで作り上げているというパワーを感じ頑張れました。
- ④ 子育ての方の参加が少ないのは残念でした。寸劇のセリフを覚えるので頭は一杯でした。後は楽しくを心掛けました。
- ⑤ Wa.Wa.Waで初めて企画をさせていただいていろいろな経験をしました。夢みたいなのも最初からできないとあきらめるより、みんなで智恵を絞れば何か形になると思います。継続していきたいです。
- ⑥ みなさんに感謝。そして夫に感謝です。

「めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」

渡辺 愛祈

- ① 寸劇と細々なお手伝い
- ② いろんな考えを持つ人と話すことが出来て楽しかった！
- ③ 着々と話がまとまり一つの形になっていくのを側で見られてよかったです。
- ④ たくさんの地域の方が来て下さってとても嬉しかったです。寸劇は緊張しましたが楽しかったです！！
- ⑤ 子育てをしやすい街にするには行政の介入が必要だったり複雑ですが、一步一步目標に近づけていきたいと思えます。
- ⑥ 授業の関係で飛び飛びの参加になってしまいましたが、これからも活動に参加したいと思うので、皆さんどうぞよろしくお祈りしますm(_)_m

「きしゃっぼっぼ、高輪ハッピーマーズ」 伊佐見 節子

- ① 寸劇、総合担当
- ② やりました！できました！
- ③ はじめゆるやかに、後半ハードな取り組みでしたが確実にこなしていくチームワークに驚きました。
- ④ 新たな出会いがあっというらしい
- ⑤ 一人では出来ないことがみんなだと出来る。みんなが住みやすい社会を目指して、地道な活動を進めて行きたいと思えます。
- ⑥ こどもたちに明るい未来を残したい。そのためにはどうすればいい？私達ができることって、なんだろう。地球環境問題、教育問題、献立相談・・・。思っていることを何でも気楽に語れる場がみなと子育てネットWa.Wa.Waです。今後もよろしくお祈りします。

「めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」

白鳥 絵梨奈

- ① 会場設営準備・寸劇でのママ役・グループの書記
- ② 伝えようとするのが大切なんだなあ～と感じました。
- ③ 会議中はお母さん達の意見が活発に出ていて、少しずつ形になっていくのを感じワクワクしていました。また、久しぶりに子ども達とも遊べてとても楽しかったです♪
- ④ 沢山の人が来て下さって嬉しかったです。寸劇も緊張したけれど楽しめました♪話し合いでは色々な意見や考えが聞けて学ぶことが多かったです！
- ⑤ これからも応援隊の活動を続けていきたいなと改めて感じました。お母さん方&子ども達のパワーを見習って自分もイキイキとしていきたいです♪応援隊掲示物も新たなバージョンを考えるぞー！！
- ⑥ 活動を通して沢山の人と出会うことができました。幸せだなあ～と思えます。そして、みんなで一つのことに取り組むことの素晴らしさを楽しみ感じました。これからもどうぞよろしくお祈りします(*^_^*)

- ① 今回の担当は？
- ② 感想を一言でいうと？
- ③ 準備段階は？
- ④ 当日はどうでしたか？
- ⑤ そしてこれからどうしていきたいですか？
- ⑥ その他なんでも自由に書いてください。

「青山ライオンキッズクラブ」

伊藤 静華

- ① 寸劇の久しぶりに美容室へ行けたママ役。当日冊子の表紙イラスト
- ② 人の意見をよく聞きまとめる難しさと、楽しくって若返る！（学生から若さをもたらってます！）
- ③ 幼稚園の行事が入りまくりで申し訳ない程お手伝いできませんでしたが、精一杯参加させていただきました。
- ④ 子育て中のママの参加率をもっと上げたいと思いました。あと、否定的っぽい意見もあり、参考になりましたが精神的に疲れました。（汗）皆で協力できて非常に楽しかったです。
- ⑤ Wa.Wa.Waで出来る事なら何でも。Wa.Wa.Waで青春してます。
- ⑥ 行事や細かい親のお手伝いがかなり多い幼稚園なので、なかなか参加できずすいません。m(_)_m

「めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」

西内 裕紀

- ① 劇と第1グループの書記です。
- ② あまり集中的にお手伝いできませんでしたが、劇も楽しく参加させていただきました(*^_^*)話し合いもとても考えさせられ、ためになりました。
- ③ あまり今回は参加できなかったのですが、次回は今回のこともいかしてもっとお手伝いできるようにしたいと思います。
- ④ 劇は緊張しましたが、とても楽しく参加できました。話し合いの場でも現役のお母様や企業の方々からのお話を伺うことができ、私にも何ができるのか、考える機会を得ることができました。
- ⑤ 現役のお母様からいただいた意見ですが、企業と連携して街頭調査を行い、その企業への利用者の意見を届け、改善後にまた調査を行い、利用者の変化を調べる、これをやっていきたいな、と思えます。
- ⑥ 来年度は私も頑張って積極的に参加していきたいと思えますので、よろしくお祈りします！

「めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」

山田 純平

- ① 寸劇では子ども役でした！
(名前をど忘れしてしまいました)
タカシです (byモモコ)
- ② 貴重な体験でした！
- ③ ほとんど、会議にも協力出来ず、当日のリハで配役を聞いたりご迷惑ばかりおかけしました。
- ④ お母さん方のパワーに圧倒されました！
- ⑤ 今後ともお母さん方からはパワーを、子どもたちからは癒しをいただきたいと思います！
- ⑥ 自分も男という性別だけど、出来ることはどんどんやっていきたいです！

「めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」

逢見 さやか

- ① 寸劇を少しと準備のお手伝いを少々
- ② みなさん、すごいなあ～
- ③ あまり活動に参加できていなかったのですが、なんとも言う資格はないですが、メールで送られてくるメールの量に驚きました。
- ④ イベントやみなさんの頑張りを見ていて、感じて、とてもすごい活動に参加していたんだなあ～と感動しました。
- ⑤ 私もみなさんみたいに楽しんで子育てをしたいです。
- ⑥ 本当は以前から応援隊に参加したかったのですが、授業などの都合で出来ませんでした。
やっとこさ、4年になって参加できたと思ったら、卒論などで行けないことが多かったです。すいません。
久しぶりに行っても、みなさんに会うと、熱意や一緒に活動している楽しさを感じさせてくれました。

「めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」

二又川 潤一

- ① 寸劇と書記。
- ② 皆さんの真剣さ熱さが伝わってきた。
- ③ ほとんど関わってないので、ごめんなさい。
- ④ 良くも悪くも皆子育てについて関心がある事を再認識。
また、中心となっていたお母さん方の進化にびっくり。
- ⑤ 今後、社会に出て自分が子育ての当事者になった時に学生である応援隊をふまえた上で親として子育てを考えたい。

「めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」

中根 磨美

こぞってには会社の都合で参加できなかったけど、3年間応援隊として子供たちお母さま方と仲良くかわらせていただき、ほんとうにありがとうございました。
この経験をこれからの仕事や人生に活かしていきたいと思います。
そして間接的にも子供たち、お母さんお父さんの笑顔を多くみられるように努力していきます。

Question

- ① 今回の担当は？
- ② 感想を一言でいうと？
- ③ 準備段階は？
- ④ 当日はどうでしたか？
- ⑤ そしてこれからどうしていきたいですか？
- ⑥ その他なんでも自由に書いてください。

Answer

明治学院大学社会学部附属研究所

所長 遠藤 興一

- ① 閉会式で挨拶をしました。
- ② グループのひとつに参加して、議論の輪に加わって、熱心なやりとりの空気を実感。
- ③ 横から眺めていた（椅子や机の運び出しは手伝いましたが…！）者として、準備は周到に行われたように思います。
- ④ 開会の時間が近づいても、参加者が少なく、気もめましたが、結果は盛会でよかった。
「劇」がとても効果的！
皆一緒に笑うことは、環境づくりとしては最適ですね。
- ⑤ いろいろな多様な人に参加をもちと呼びかけるなど、参加の対象を広げられるとよいですね。
- ⑥ 応援隊の若さをひしひしと感じました。

明治学院大学社会学部附属研究所

主任 新保 美香

- ① ビデオ係でした。
- ② 楽しかったです。いっぱい笑いました！
- ③ 当日のみの参加で失礼しました。
- ④ 寸劇のリハーサルから拝見していましたが、本番では出演者のみなさまのパワー爆発で、リハーサルからは考えられないような素敵に完成しましたね。すごかった～！！これは、伝説になるかも。
- ⑤ みなと子育てネットWa.Wa.Waのますますの発展を願ってやみません。
いっぱいおしゃべりしながら、思いを形にしていくことができたらいいですね（加留部さんのメッセージから学びました♪）
- ⑥ みなさまとお会いできて、とっても嬉しかったです。
元気をいっぱいいただきました。
ちびっこたちにも感謝です。あっ！！最後に、「福祉をやるなら明学へ！」（宣伝でした）

明治学院大学社会学部附属研究所

所員 杉山 佳子

- ① 進捗状況の報告を受けて、意見を若干述べたこと。
- ② 子育て当事者が発信するエネルギーを感じました。
- ③ 報告の中で次第に形になり、いろいろな意見を吸収していく経過を応援しました。
- ④ 寸劇がすばらしかった。
臨場感がありました。そして報告は現在の子育て世代の時代的背景や価値観を、見事に説明とイラストであらわしていると思いました。
- ⑤ 研究所の所員としては関われませんが、子育てに関心を持ち子育ての環境をよりよく整えるために働きたいと思っています。
- ⑥ 港区地域こぞって子育て懇談会はエネルギーを内に秘め、確実に歩みを進めていると思います。
いろいろな背景を持った方々が参加して、子育てだけではなくいろいろな分野や状況に地域の力が結集できることを祈っています。

明治学院大学社会学部付属研究所

ソーシャルワーカー 平野 幸子

- ① 濱田さん同様、何でもやります！隊員。録音機配り・アメ配り、そして気配り・心配り…（できたかな？）
- ② ひょ～～想いがカタチになりました！
- ③ みなと子育てネットWa. Wa. Wa プロジェクトメンバーが、記録や進行をさくさくやってくれたので、去年よりらくちんだ～～。
- ④ 社会学部付属研究所主催市民向けの催しで、マイクを持たなかったことは初めて！
私プロデューサーみたい？？
- ⑤ 本当のプロデューサーになりたいと心に誓った（?!）
- ⑥ さまざまなママ・パパ、いろいろな大人たちを巻き込んで、地域でこぞって子育てできるよう来年度もがんばりたい～！
皆さんよろしくお祈りしま～す♪

明治学院大学社会学部付属研究所

ソーシャルワーカー 濱田 智恵美

- ① 何でもやります！隊（主に撮影を担当しました）
- ② うーん、難しい！あえていうなら「汗と笑いと情熱と・・・」
- ③ 昨年の7月に研究所のソーシャルワーカーとして着任してから、皆さんのこれまでの歩みと新たな試みについていくことに、正直、必死でした。こんな私を受け入れてくださって、感謝！感謝！
- ④ メンバーの皆さんの瞬発力と“腕力”に脱帽！！
- ⑤ 継続は力なり！小さな気づきと取り組みは社会を変える無限の力を持っていることを、ひしひしと肌で感じました。一つ一つの経験を丁寧に積み重ねる努力をしていきたいと思っています。
- ⑥ ソーシャルワーカーとしての初めての出会いが、みなと子育てネットWa. Wa. Waの皆さんだったことをとても光栄に思っています。まだまだ未熟な私ですが、どうか今後もよろしくお願いいたします。



- ① 今回の担当は？
- ② 感想を一言でいうと？
- ③ 準備段階は？
- ④ 当日はどうでしたか？
- ⑤ そしてこれからどうしていきたいですか？
- ⑥ その他なんでも自由に書いてください。

港区立子ども家庭支援センター

所長 川上 真二

- ① 懇談会当日まではこの企画の進行状況を確認し、当日は行政として懇談会に参加しました。
- ② みなと子育てネットWa.Wa.Wa.のメンバーのみなさんが、自らも子育て等に忙しい生活の中から時間をやりくりして、定例の企画会議に参加し、ここまでやり遂げたことに敬意を表します。
- ③ 子育て中の人へのアンケートや商店会やお店への広報活動など、メンバーのみなさんが自らのこととしてアイデアを出し、実行するなど、どんどん積極的になっていく姿を頼もしく思っていました。
- ④ 前回よりもさまざまな立場からの参加が多くなり嬉しかったのですが、それだけに意見の違いが見えてきました。
- ⑤ 子育て中のみなさんの気持ちをアイデアとして形にして、地域でそれをどのように実現していくか、一緒に考えていきたいと思えます。
- ⑥ 課題はまだありますが、子どもや子育て中の人に優しいまちはだれもが住みやすいまちになる、そんな思いを地域で共有できるようになったらいいな、と思えます。

Answer

港区立子ども家庭支援センター

古賀 芳江

- ① 当日は受付をし、ラウンドミーティングにも参加しました。
- ② 今の子育てや子育てをしている人の思いをみなさんに伝えられたと思います。
- ③ 定例の企画会議にはあまり参加できなかったのですが、Wa.Wa.Wa.のみなさんが何度も何度も討議され、だんだんと形になっていく過程を聞き、みなさんの宝のような経験になったことと思います。
- ④ すばらしい演技力の寸劇が心に残っています。
ラウンドミーティングでは、いろいろな立場により、それぞれ意見の違いがあることが再確認できました。
- ⑤ 自宅にこもりがちな母親にもどんどん参加していただき、より安心して子育てができる港区をめざしたいです。
- ⑥ 子育て中の人や地域のみなさんと話し合ったことを実践できたらと思います。

港区立子ども家庭支援センター

村中 紀子

- ① 主に保育を担当し、ラウンドミーティングにも参加しました。
- ② 子育て中の人をはじめ、企業など、幅広く参加していただき、港区らしい懇談会になってよかったと思います。
- ③ 寸劇での熱演には頭が下がりました。次回は、「子育てってこんなに大変！」というところだけでなく、「こんな店が欲しい！」というような提案型の部分も取り入れるとよりよくなると思います。
- ④ 当日までメンバー全員ができるところで力を合わせ、また、去年のファシリテーター森さんはウイットとユーモアで参加者をひきつけるなど、みなさんの総合力はさすが！と思えました。
- ⑤ これからも年間を通して「地域こぞって子育て」を呼びかけていきます。特にバギーキャラバンには私も参加します！
- ⑥ 今回のアンケートでは多くの子育て中の人々の貴重な意見が伺えました。また、みなさんの力を強く感じています。これからもよろしくお願い致します。

めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊

応援隊とは……

社会学部附属研究所に所属している学生ボランティア団体です。様々な学年学科で構成されており、子どもと関わる事が好きな人や子育てに関心がある人が集まっています。

今まで市民講座が2回行われ、学生は企画・運営・保育補助に関わりました。今期も研究所主催の市民講座に参加する子育て支援グループの方達が企画会議をしている間の子ども達の見守り保育や、会議の記録を取ったりしています。また、港区近隣の子育てグループの所在地を書いたマップの作成や、掲示物の作成なども行いました。学生も会議に参加し、お母さん方から意見を求められる事もあります。

お母さん方からパワーをもらい、子ども達の笑顔に癒されながら、みんなで力を合わせて楽しく活動しています。

応援隊メンバー

第3期

- ☆浅野黎子(心理学部3年) ☆浅野航(社会福祉学科4年) ☆逢見さやか(国際学部4年)
- ☆河合美典(国際学部4年) ☆白鳥絵梨奈(心理学部3年) ☆西内裕紀(心理学部2年)
- ☆二又川潤一(社会福祉学科4年) ☆村上茜(社会学部4年) ☆渡部愛希(心理学部2年)
- ☆山田純平(心理学部2年)

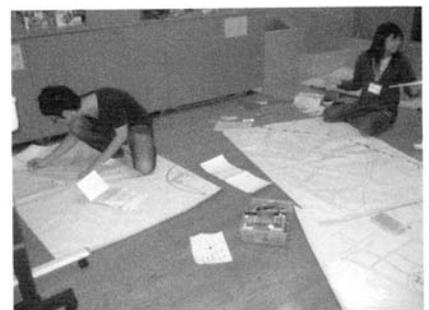
♪活動アルバム♪



応援隊の気持ちや気づきをつめた「サポート」！
第3期メンバーも作ったので見て下さい！
会場にも掲示してあります！



Wa.Wa.Waのお手伝いにて区民祭りの
お手伝いにも行きます。お母さん方のパワーに元気づけられました。



第1期ではマップを作りました。
まだ文化祭の準備の最中。



企画会議にも参加!!
お母さん達の意見、勉強になります!!



お母さん達の会議中、子ども達と
遊んで待っている所。
子ども達の笑顔に心が癒されます。



前回のこもろで懇話会の様子☆
地域での子育てについて真剣に話し合い
に参加しました。

応援隊メンバーからの提案…

学生応援隊として活動し、その中で私たちは、子育てをささえる地域創りについて考えました。子育てをささえる地域創りとは、互いに気を配り、支えあえる関係を築こうとすることだと考えました。互いに気を配り、支えあえるというのは、互いが互いの存在を認識し、意識しあうことから始まると考えました。その為には、地域住民や企業、行政との繋がりを構築することが良いのではないかと考えました。

そこで、地域にある子育てグループの出番です。グループに参加することで、他のお母さんたちと繋がり、顔見知りになることができます。そして、様々なグループ同士の横の繋がりをつくり、情報を集約し、お母さん達に伝えていく役割を、「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」が担います。ただ、これだけではお母さん達でとどまるだけです。

そこで、広がりをつくるための案を、2つ考えてみました。

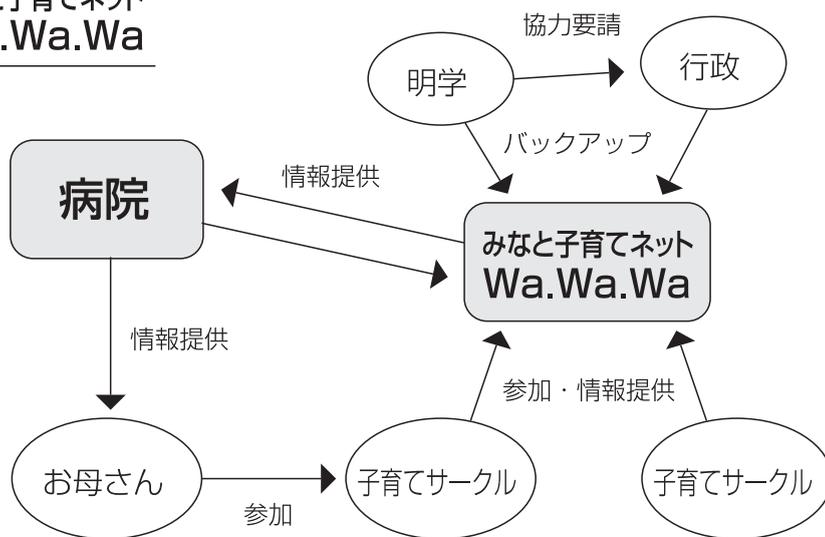
1つ目は病院に情報を集めて、出産や検診に訪れる方に、グループの情報を提供します。

2つ目は出生届などの手続きをする際に訪れる、区役所などの行政機関に情報を集めるというものです。

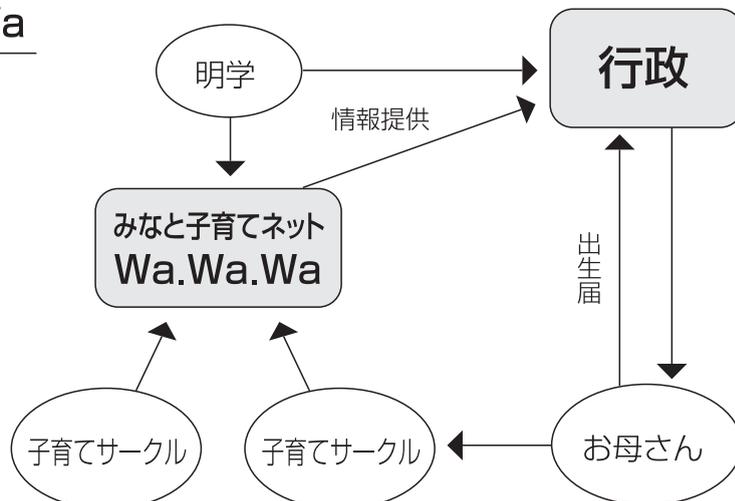
2つとも私の提案ですが、このような取り組み方も可能なのではないかと考えています。

(めいがかくキッズ&ママ・パパ応援隊メンバー/明治学院大学社会福祉学科4年 二又川潤一)

みなと子育てネット 病院とWa.Wa.Wa



みなと子育てネット 行政とWa.Wa.Wa



所 感

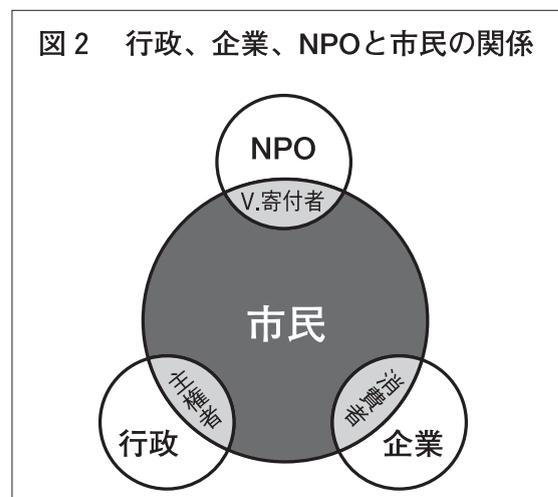
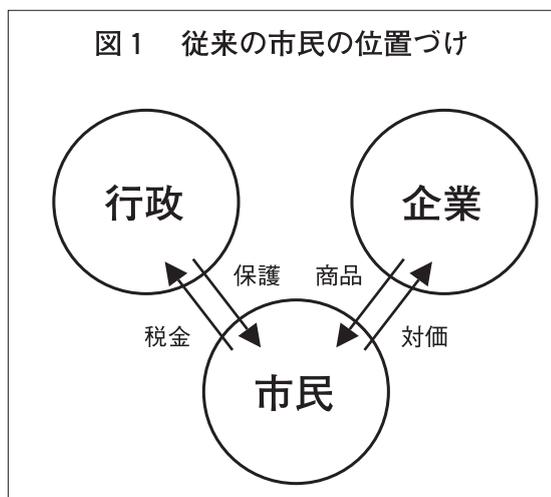
2007年度港区地域こぞって子育て懇談会が無事終了しました。今年度も、昨年度同様、当所が港区より企画委託を受け、港区立子ども家庭支援センターと共催しました。が、その経過・内容は、昨年度とはだいぶ異なりました。今年度の開催経過ページにあった通り、子育てグループのネットワーク「みなと子育てネットWa. Wa. Wa」のプロジェクトが、主体的に企画立案を牽引してくれました。恐るべし！子育て当事者パワーでした。2006年度の本懇談会から発せられたメッセージを継承しつつ、新たなストーリーが展開されました。

昨年度の実行委員メンバーに新たなメンバーも加え、当所スタッフと学生ボランティアも参加して始まった企画会議。当初の会議で、現役子育て当事者たちの本当のニーズを事前にちゃんとつかむことが合意されました。限られた時間で行った調査には課題もあったと思います。でも、自分たちの手元に帰ってきた調査票には、赤裸々に、「今」の子育てへの困惑が語られていました。もちろん困りごとだけではなく、子どもの成長をみつめてがんばっている親たちの姿も見えました。忙しい中記入してくれたであろう調査票に、私たちはとても励まされました。調査に協力してくれた皆さんひとりひとりにお礼を申し上げたいところです。この場を借りまして、改めてお礼を申し上げます。

この調査結果を基に行った提案は、本報告書に掲載の通りです。当日の参加者の皆さんからは、さまざまなご意見をいただきました。世代間や立場のちがいによる意見の違いもありました。しかし、異なる意見を出していただける場をつくれてよかったと、関わった者たちは思っています。いろいろな人が生活しているのが、まさしく私たちが生きる社会だからです。この度の懇談会をふり返り、あらためて市民はちゃんとまん中でなければと思いました。市民がまん中とは、大阪ボランティア協会事務局長早瀬氏による図2の市民の位置のことです。早瀬氏は、従来の市民の位置づけが図1だったとすると、「市民が行政に対して主権者として選挙権と被選挙権を行使し、企業に対して消費者や労働者として関わる以上、市民の位置は、本来図2のようになるべきである。市民は、NPOに関わって市民活動を進めるとともに、行政や企業のあり方にも関わり、相応の責任を共有する存在である。より正確に言えば、このような自覚を持って生きる人こそ『市民』と呼ぶべき存在と言える」といっています¹。

本懇談会が、異なる意見をもちつつも、よりよい地域社会創りをしたいと考える『市民』同士の出会いとコミュニケーションの場になり得たとしたら、大きな喜びです。昨年度の本懇談会のファシリテーター加留部氏²は、「あせらず・あわてず・あきらめず、みんなこぞって頑張っていきましょう」という言葉を私たちにくれました。そう、あせらず・あわてず・あきらめず、また明日から地道に歩んでいきたいものです。

(明治学院大学社会学部附属研究所 平野幸子)



¹ 早瀬昇「『市民社会』の姿と、『市民社会』作りに関わるボランティアコーディネーターの役割」（「一歩前へ！ボランティアコーディネーター」全国ボランティアコーディネーター研究集会2000実行委員会編 2000年筒井書房発行）より引用

² 明治学院大学社会学部附属研究所主催2007年度子育て支援活動メンバーのための活動スキルアップ講座第5回講師。2007年1月より、西部ガス（株）から九州大学大学評価情報室特任准教授として出向中。

編集後記

時間との戦い、御飯との戦いの毎日でした。でも自発的に行っているものでしたからストレスは感じませんでした。もう少し時間が欲しかったです。皆さんご協力ありがとうございました。（廣田）

●企画：みなと子育てネットWa.Wa.Wa「港区地域こぞって子育て懇談会プロジェクトメンバー」

プロジェクトリーダー：伊佐見節子（高輪ハッピーママーズ）

サブリーダー：志牟田美佐子（ポニーの会）

石橋千恵子（おさんぼくらぶ）

伊藤静華（青山ライオンキッズクラブ）

宇山真紀子（L a. L a. L a.）

大西麻子（青山ライオンキッズクラブ）

金地 晃（L a. L a. L a.）

小西智美（Den of Delight）

中鉢康子（L a. L a. L a.）

廣田千秋（おおきなき）

宮川純子（高輪ハッピーママーズ）

川森玲子（みなと子育てネットWa.Wa.Wa）

●協力：めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊

第3期メンバー

浅野黎子（心理学部3年）

浅野 航（社会学部4年）

逢見さやか（国際学部4年）

河合美典（国際学部4年）

白鳥絵梨奈（心理学部3年）

中根磨美（法学部4年）

西内裕紀（心理学部2年）

二又川潤一（社会学部4年）

三原路子（社会学部大学院2年）

村上 茜（社会学部4年）

山田純平（心理学部2年）

渡邊愛祈（心理学部2年）

●主催：明治学院大学社会学部附属研究所

所長：遠藤興一

相談・研究部門：ソーシャルワーカー 平野幸子・濱田智恵美

教員 新保美香(主任)・杉山佳子・深谷美枝

●主催：港区立子ども家庭支援センター

所長：川上真二

古賀芳江

村中紀子

港区地域こぞって子育て懇談会 芝浦港南地区編

「みんなで聞こう・いっしょに話そう ～急募！子育てにやさしい店と街～」報告書

2008年3月28日発行

編集 明治学院大学社会学部附属研究所・みなと子育てネットWa.Wa.Wa

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

TEL03-5421-5204/5205 FAX03-5421-5205

Eメール issw@soc.meijigakuin.ac.jp

発行 港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部附属研究所